

第 6 編

下水道事業

◎全国の公共下水道事業者数

	R元年度	30年度	増減
都道府県営	4	4	0
指定都市営	20	20	0
市営	720	720	0
町村営	429	429	0
企業団営	16	16	0
計	1,189	1,189	0

1	事業の沿革	P211
2	下水道整備計画の概要	P228
3	下水道整備の現況	P229
4	処理場・ポンプ場施設 の概要	P234
5	事業の概要	P250
6	下水道の普及促進	P252
7	料金制度等	P255
8	財務の状況	P260

第6編 下水道事業

1 事業の沿革

(1) 沿革

年	月	日	主 要 事 項
昭和	36.	6. 26	公共下水道基本計画策定
	37.	3. 31	公共下水道事業第1期事業計画の認可（建設省） 事業費 10億2千万円、整備面積 336ヘクタール
	40.	4. 1	建設部開発第1課内に下水道係を新設
	42.	2	浅野終末処理場用地買収完了
	〃	3. 27	公共下水道事業(終末処理場)事業計画変更の認可（厚生省） 事業費 39億2千万円、整備面積 336ヘクタール
	43.	3. 28	金沢都市計画下水道事業受益者負担に関する省令規則を制定
	〃	4. 1	建設部下水道課を設置（庶務、建設の2係体制）
	〃	5. 1	第1負担区受益者負担金額を公告
	〃	10. 1	金沢市公共下水道条例を制定
	〃	12. 21	金沢市水洗便所改造資金融資条例を制定
	44.	3. 25	金沢市公共下水道事業の設置等に関する条例及び金沢市公共下水道事業について 地方公営企業法の規定の一部を適用する条例を制定
	〃	4. 1	浅野終末処理場の供用開始を告示し、下水道課に施設係を設置
	〃	4. 25	簡易処理を開始
	45.	4. 1	下水道課に業務、計画の2係を設置
	〃	12. 21	金沢市下水道排水設備工事施工人に関する規則を制定
	46.	4. 1	下水道課に排水設備係を設置
	47.	4	活性汚泥法による高級処理開始
	〃	4	下水道使用料の徴収を企業局に委託 (市長事務の一部を金沢市公営企業管理者に委任する規則に基づく)
	〃	4. 1	下水道課を下水道業務課と下水道建設課に分離
	〃	8. 4	公共下水道事業第2期事業計画の認可（建設省） 区域拡大 1,196ha（浅野1,196ha） 事業費 189億、整備面積 1,532ヘクタール (第1期 342ha、第2期 1,190ha)
	〃	12. 21	金沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	48.	2. 21	第2負担区受益者負担金額を公告
	〃	4. 1	下水道部を新設、業務課(庶務、業務、排水設備係) 建設課(建設第1、建設第2、 計画係、終末処理場)を設置
	49.	4. 1	建設課終末処理場が浅野処理場（管理、処理係）として独立、業務課に収納整理 係を設置
	51.	6. 3	公共下水道事業第3期事業計画の認可（建設省） 東力処理区追加 1,336ha 事業費 882億 整備面積 2,868ヘクタール（第1～2期を含む）
	52.	3. 11	第3負担区受益者負担金額を公告

年	月	日	主 要 事 項
昭和	52.	5. 1	下水道使用料を改定（改定率 91%）
	〃	9. 16	西部処理場起工式
	53.	1. 25	公共下水道事業第 3 期事業変更計画の認可（建設省） 西部処理施設の配置変更
	〃	4. 1	建設課に建設第 3 係を設置
	54.	4. 1	建設課計画係が計画第 1 係、計画第 2 係に分離
	55.	4. 1	浅野処理場を処理課に改称し管理係、浅野処理場、西部処理場を設置
	〃	5. 16	西部処理場通水式を挙行
	〃	7. 1	西部処理場処理開始を公示
	56.	6. 12	公共下水道事業第 4 期事業計画の認可（建設省） 区域拡大 1,245ha（浅野 655ha、西部590ha） 事業費 1,407億円 整備面積 4,113ヘクタール （第 1 ～ 3 期を含む）
	〃	7. 1	下水道使用料を改定（改定率 81%）
	57.	4. 1	下水道使用料を改定（改定率 16.6%）
	58.	4. 1	下水道使用料を改定（改定率 29.8%）
	〃	12. 21	公共下水道事業第 4 期事業計画の認可（建設省） 浅野処理施設の配置変更
	59.	2. 1	第 4 負担区受益者負担金額を公告
	60.	6. 1	下水道使用料を改定（改定率 6.7%）
	62.	3. 27	公共下水道事業第 5 期事業計画の認可（建設省） 区域拡大 440ha（浅野440ha） 事業費 1,606億円 整備面積 4,553ヘクタール （第 1 ～ 4 期を含む）
	〃	6. 1	下水道使用料を改定（改定率 14.69%）
	〃	12. 19	犀川左岸流域下水道事業第 1 期事業計画の認可（建設省） 事業費 153億円 整備面積 690ヘクタール（金沢市、野々市町）
	63.	2. 3	流域関連公共下水道事業第 1 期事業計画の認可（県） 犀川左岸処理区追加 574ha 事業費 160億円 整備面積 574ヘクタール
	〃	2. 22	第 5 負担区受益者負担金額を公告
	〃	3. 7	公共下水道事業第 5 期事業変更計画の認可（建設省） 西部処理区を拡大 115ha、臨海処理区の追加 367ha 事業費 1,493億円 整備面積 5,035ヘクタール
	〃	4. 1	業務課を庶務課に、処理課を施設管理課に改称
平成	元.	6. 1	下水道使用料を改定（改定率 10.1%）
	〃	11. 18	臨海浄化センター起工式
	〃	12. 7	公共下水道事業第 5 期事業変更計画の認可（建設省） 浅野処理区を拡大 13ha 事業費 1,787億円 整備面積 5,048ヘクタール
	3.	3. 19	公共下水道事業第 5 期事業変更計画の認可（建設省） 西部処理場施設、臨海浄化センター施設の追加

年 月 日	主 要 事 項
平成 3. 4. 1	建設課に計画第3係、臨海下水道建設事務所を設置
〃 7. 1	臨海下水道建設事務所を開設
4. 4. 1	浅野処理場、西部処理場を城北水質管理センター、西部水質管理センターに名称変更
〃 5. 25	5か所の地域下水道施設の名称を水質管理ステーションに変更 公共下水道事業第5期事業変更計画の認可（県） 森本丘陵処理区の追加 65ha 事業費 1,835億円 整備面積 5,113ヘクタール
〃 6. 1	下水道使用料を改定（改定率 6.6%）
〃 9. 6	下水道30周年記念事業開催 （6日）於 城北水質管理センター 下水道探検隊、工事看板コンクール、園芸教室、小学生作品コンクール、下水道コーナー等実施
〃 9. 10	（10日）於 石川県厚生年金会館 下水道施設見学会、講演会「婦人と健康」開催 市婦人会45名参加
5. 4. 1	農村下水道施設の維持管理を開始（農村下水道事業費特別会計） 俵、東原、竹又、三谷、清水谷、別所の6地区
6. 2. 14	公共下水道事業第5期事業変更計画の認可（県） 浅野処理区、西部処理区の雨水排除計画の変更
〃 4. 1	臨海水質管理センターの稼働にむけ職員5名を配置
〃 4. 1	二俣地区農村下水道施設の供用開始
〃 4. 17	城北水質管理センター第1水処理施設上屋の改修完了、 ニュースポーツ広場としてオープン
〃 5. 11	公共下水道事業第6期事業計画の認可（建設省） 区域拡大 1,126ha（浅野17ha、臨海1,109ha） 事業費 3,759億円 整備面積 6,239ヘクタール （第1～5期を含む）
〃 5. 20	犀川左岸流域下水道事業第2期事業計画の認可（建設省） 事業費 273億円 整備面積 1,580ヘクタール （金沢市、野々市町、鶴来町）（第1期を含む）
〃 6. 1	下水道使用料を改定（改定率 15.98%）
〃 7. 19	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 区域拡大 404ha 事業費 400億円 整備面積 978ヘクタール
〃 7. 19	事業費 400億円 整備面積 978ヘクタール
〃 9. 8	いきいき下水道建設大臣賞受賞
〃 10. 1	臨海水質管理センター供用開始を告示 整備面積 189ha、処理人口 8,000人、管渠延長 55,477m
〃 10. 7	臨海水質管理センター通水式を挙げる
〃 11. 1	芝原地区農村下水道施設の供用開始
〃 12. 1	犀川左岸流域下水道の一部供用開始（金沢市、野々市町）
〃 12. 1	金沢テクノパーク水質管理ステーション供用開始を告示

年 月 日	主 要 事 項
平成 6. 12. 2	金沢テクノパーク水質管理ステーション通水式を挙行
7. 3. 31	第6負担区受益者負担金額を公告
〃 4. 1	北袋地区農村下水道施設の供用開始
8. 4. 1	下水道使用料を改定（改定率 18.37%） 基本使用料制を導入
〃 9. 1	戸室新保地区農村下水道施設の供用開始
〃 11. 12	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 区域拡大 70ha 事業費 420億円 整備面積 1,048ヘクタール
〃 12. 25	特定環境公共下水道事業の認可（県） 湯涌処理区追加 25ha 事業費 12億円 整備面積 25ヘクタール
9. 3. 11	公共下水道事業第6期事業変更計画の認可（建設省） 増補幹線の位置及び管径の変更 汚泥共同処理施設の新設
〃 5. 8	西部水質管理センター汚泥パイプ輸送施設竣工式
〃 10. 21	公共下水道事業第6期事業変更計画の認可（建設省） 臨海水質管理センターの水処理施設及び汚泥消化タンクの変更
〃 12. 24	大浦汚水中継ポンプ場供用開始
10. 4. 1	下水道使用料を改定（改定率 9.62%）
〃 8. 28	公共下水道事業第7期事業計画の認可（建設省）
(11. 3. 31) ()は森本	区域拡大 854ha（浅野113ha、西部223ha、臨海517ha、森本1ha） 事業費 3,764億円 整備面積 7,093ヘクタール （第1～6期を含む）
11. 3. 31	第7負担区受益者負担金額を公告
12. 4. 1	汚泥共同処理施設の供用開始
〃 5. 24	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 130ha（臨海130ha） 事業費 3,988億円 整備面積 7,223ヘクタール
〃 8. 1	中山地区農村下水道施設の供用開始
〃 10. 1	中戸地区農村下水道施設の供用開始
13. 4. 1	下水道部は金沢市企業局と統合（地方公営企業法の全部適用）
〃 4. 1	湯涌水質管理ステーションの供用開始 芝原地区農村下水道を湯涌処理区に統合
〃 5. 30	浅野暫定ポンプ場（増補幹線）一部供用開始
〃 6. 13	臨海水質管理センター ISO14001認証取得
〃 9. 9	戸板雨水ポンプ場供用開始
〃 9. 9	高島雨水ポンプ場供用開始
〃 11. 13	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 区域拡大 139ha 事業費 542億円 整備面積 1,187ヘクタール
〃 12. 17	木越汚水中継ポンプ場供用開始

年 月 日	主 要 事 項
平成 14. 12. 5	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 221ha（浅野129ha、臨海92ha） 事業費 4,034億円 整備面積 7,444ヘクタール
16. 1. 19	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 区域拡大 17ha 事業費 422億円 整備面積 1,204ヘクタール
〃 4. 1	湊雨水ポンプ場供用開始
〃 4. 1	古府雨水ポンプ場供用開始
〃 4. 1	保古雨水ポンプ場供用開始
〃 11. 5	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 136ha（浅野3ha、臨海133ha） 事業費 4,189億円 整備面積 7,580ヘクタール
17. 5. 18	臨海水質管理センターから港エネルギーセンターへ精製消化ガスの供給を開始
18. 3. 3	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 事業期間の延伸 事業費 492億円 整備面積 1,204ヘクタール
	特定環境公共下水道事業の認可（県） 事業期間の延伸 事業費 14億円 整備面積 25ヘクタール
〃 3. 22 (18. 3. 3) ()は森本	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 合流式下水道の改善施設の追加 計画放流水質の設定 森本丘陵処理区 事業期間の延伸 事業費 4,157億円 整備面積 7,580ヘクタール
〃 6. 3	浅野雨水ポンプ場供用開始
19. 3. 30	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 24ha（臨海24ha） 事業費 4,167億円 整備面積 7,604ヘクタール
20. 3. 12	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 23ha（臨海23ha） 事業費 4,186億円 整備面積 7,627ヘクタール
21. 4. 1	下水道使用料を改定（改定率 8.28%）
22. 3. 24	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 事業期間の延伸 区域拡大 13ha（浅野1ha、西部8ha、臨海4ha） 合流式下水道の改善施設の追加 森本丘陵処理区 事業期間の延伸 事業費 4,345億円 整備面積 7,640ヘクタール
	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 事業期間の延伸 事業費 481億円 整備面積 1,204ヘクタール

年	月	日	主 要 事 項
平成	22.	3. 24	特定環境公共下水道事業の認可（県） 事業期間の延伸 事業費 13億円 整備面積 25ヘクタール
	23.	6. 12	臨海水質管理センター ISO14001 認証返上
	24.	3. 30	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可（県） 区域拡大 59ha（浅野29ha、臨海30ha） 合流式下水道の改善施設の変更 事業費 4,392億円 整備面積 7,699ヘクタール
			流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可（県） 区域拡大 51ha 事業費 481億円 整備面積 1,255ヘクタール
	25.	8. 22	国土交通大臣賞<循環のみち下水道賞>受賞
	26.	3. 14	公共下水道事業第7期事業変更計画の協議（県） 事業期間の延伸 区域拡大 74ha（浅野4ha、臨海70ha） 処理施設規模の縮小 鞍月小学校貯留施設の追加 事業費 4,424億円 整備面積 7,707ヘクタール
	〃	3. 22	城北水質管理センター 消化ガス発電施設供用開始
	〃	4. 1	七ツ屋ポンプ場系統滞水池供用開始
	27.	3. 31	森本丘陵処理区を臨海処理区に統合 （金沢テクノパーク水質管理ステーションの廃止）
	〃	4. 1	浅野ポンプ場系統滞水池供用開始
	〃	11. 18	流域関連公共下水道事業第2期事業変更計画の協議（県） 事業期間の延伸 区域拡大 0.2ha 事業費 482億円 整備面積 1,255ヘクタール
			特定環境公共下水道事業変更計画の協議（県） 事業期間の延伸 事業費 10億円 整備面積 30ヘクタール
	〃	12. 24	企業局総合防災計画策定
	30.	4. 1	農村下水道事業が農林水産局から企業局に移管
	〃	6. 1	公共下水道事業第7期事業変更計画の協議（県） 事業期間の延伸 区域拡大(臨海)(汚水29ha)（農業集落排水 薬師谷地区の編入） 戸室新保次期埋立場浸出水を汚水量に追加 改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載 事業費 4,708億円 整備面積(汚水)7,736ヘクタール、(雨水)7,707ヘクタール
	〃	11. 16	流域関連公共下水道事業第2期事業変更計画の協議（県） 事業期間の延伸 区域縮小 ▲20ha

年 月 日	主 要 事 項
平成 30. 11. 16	改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載 事業費 498億円 整備面積(汚水、雨水)1,235ヘクタール 特定環境公共下水道事業変更計画の協議(県) 事業期間の延伸 区域拡大 2ha
31. 3. 29	改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載 事業費 10億円 整備面積(汚水) 32ヘクタール 金沢市下水道五十年史 発行
令和 2. 2. 1	臨海水質管理センターにおいて民設民営の消化ガス発電事業開始 発電事業者 水ingエンジニアリング株式会社 北陸営業所 施設規模 60kW×6基 = 360kW 事業期間 20年間
〃 4. 1	薬師谷地区農村下水道を臨海処理区に統合
〃 5. 29	公共下水道事業第7期事業変更計画の協議(県) 区域拡大(臨海)(汚水34ha、雨水42ha)、区域縮小(浅野、西部、臨海) 及び区域面積をデジタル化により算出した数値に移行 (汚水166ha、雨水279ha) 事業費 4,667億円 整備面積(汚水)7,936ヘクタール、(雨水)8,028ヘクタール
3. 3. 30	流域関連公共下水道事業第2期事業変更計画の協議(県) 区域拡大及び区域面積をデジタル化により算出した数値に移行(15ha) 事業費 499億円 整備面積(汚水、雨水)1,250ヘクタール 公共下水道事業第7期事業変更計画の協議(県) 排水区の変更及び雨水の主要な管渠の追加 事業費 4,670億円 整備面積(汚水)7,936ヘクタール、(雨水)8,028ヘクタール

(2) 都市計画決定・認可等の経緯

	区分	年月日	内容				備考	
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		特記事項
第1回 (第1期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和37年 5月28日 昭和37年 5月28日 昭和37年 3月31日	合流式	336ha 336ha 336ha	74,500人	-	家庭汚水量 350L/日最大 地下水量 50L/日最大 工場排水量 20,945m ³ /日 区域 336ha	
第2回	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和42年 9月 8日 昭和42年 9月 8日 昭和42年 3月27日	合流式	336ha 336ha 336ha	74,500人	41,700	終末処理場施設の新設 (浅野処理場) 工場排水量 13,000m ³ /日	目標年次 昭和55年3月
第3回 (第2期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和47年 3月31日 昭和47年11月28日 昭和47年 8月 4日	分流式 一部合流式	1,532ha 分流1,128 合流 404	120,000人	126,000	区域拡大 汚水1,196ha 1期事業342haに変更 2期事業1,190haに追加 雨水 707ha	八幡、東山、金腐 の都市下水路を 切替 目標年次 平成2年3月
第4回 (第3期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和51年 5月 1日 昭和51年 7月20日 昭和51年 6月 3日	分流式 一部合流式	3,165ha 2,868ha 2,868ha	214,000人 214,000人	258,000 258,000	東力処理区を追加 1,336ha 東力処理場を新設 132,000m ³ /日 雨水計画見直し (全域に雨水計画策定)	横山町、鞍月排水路 の都市下水路を 切替 目標年次 平成7年3月
第5回	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和53年 2月21日 昭和53年 4月21日 昭和53年 1月25日	分流式 一部合流式	3,165ha 2,868ha 2,868ha	214,000人 214,000人	258,000 258,000	一部名称の変更 西部処理場の地形変更による配置計画 の変更	目標年次 平成7年3月
第6回 (第4期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和56年 6月11日 昭和56年12月15日 昭和56年 6月12日	分流式 一部合流式	4,323ha 4,113ha 4,113ha	268,400人 268,400人	372,000 372,000	区域拡大 1,245ha 浅野処理区 655ha 西部処理区 590ha 処理場114,000m ³ /日(浅野65,000m ³ /日 西部49,000m ³ /日)の追加	目標年次 平成3年3月

	区分	年月日	内容				特記事項	備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		
第7回	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和59年 1月11日	分流式	4,323ha	268,400人	372,000	浅野処理場 用地の変更、主要施設の配置変更、 主要幹線管渠ルートの変更	目標年次 平成3年3月
		昭和59年 3月6日	一部合流式	4,113ha	268,400人	372,000		
		昭和58年12月21日	一部合流式	4,113ha	268,400人	372,000		
第8回 (第5期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和62年 4月10日	分流式	4,766ha	297,900人	266,000	浅野処理区区域拡大 440ha 計画諸元値の変更 家庭汚水量 310L/日 地下水量 110L/日 営業排水 130L/日	駅西第2、光が丘、 駅西の都市下水道 を切替 目標年次 平成7年3月
		昭和62年 8月7日	一部合流式	4,553ha	297,900人	266,000		
		昭和62年 3月27日	一部合流式	4,553ha	297,900人	266,000		
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和62年10月27日	分流式	1,984ha (1,014)	36,400人 (29,600)	27,500 (27,500)	新規決定・認可 ()は金沢市分	目標年次 平成7年3月
		昭和62年11月30日	分流式	690ha (574)	36,400人 (29,600)	27,500 (27,500)		
		昭和62年12月19日	分流式	690ha (574)	36,400人 (29,600)	27,500 (27,500)		
第9回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可	昭和62年10月27日	分流式	7,900ha	353,000人	279,500	西部処理区区域拡大 115ha 臨海処理区新規認可 367ha 犀川左岸処理区新規認可 574ha 西部処理区第10分区を犀川左岸処理 区へ移行	目標年次 平成7年3月
		昭和63年 2月16日	分流式	5,609ha	323,400	279,500		
		昭和63年 2月3日	一部合流式	5,035 574	29,600	(27,500)		
第10回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共	昭和63年 3月7日	分流式	5,609ha	353,000人	279,500	浅野処理区区域拡大 (冲町・北部運動公園) 臨海浄化センターへ名称変更 臨海浄化センター汚泥処理方式及び 配置の変更	目標年次 平成7年3月
		昭和63年 2月3日	一部合流式	5,035 574	323,400	279,500 (27,500)		
		平成元年11月1日	分流式	7,913ha	29,600	279,500		
第11回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業認可	平成2年 1月19日	分流式	5,622ha	353,000人	279,500	無量寺汚水中継ポンプ場の廃止 栗崎汚水中継ポンプ場の位置変更 ポンプ場の変更に伴う幹線管渠の変更 臨海浄化センター一場内ポンプ場の設置	目標年次 平成7年3月
		平成元年12月7日	一部合流式	5,048	323,400	279,500		
		平成2年11月1日	一部合流式	5,622ha	353,000人	279,500		

	区分	年月日	内容				特記事項	備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		
第12回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス) 下水道法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス)	平成4年3月11日 平成4年5月19日 平成4年6月23日 平成4年3月17日 平成4年5月25日	分 流 式 一 部 合 流 式	8,018ha	353,320人	282,500	西部水質管理センター汚泥処分方法の 変更及び地形変更 森本丘陵処理区の追加 65ha	目標年次 平成7年3月 平成11年3月
				5,687ha	323,400	279,500		
				5,048	320	3,000		
				65	353,320人	282,500		
第13回	都市計画決定	平成4年4月1日	分 流 式 一 部 合 流 式	8,060ha			都市計画決定の変更のみ 臨海処理区	
第14回	下水道法事業認可 公共下水道	平成6年2月14日 平成6年1月18日	分 流 式 一 部 合 流 式	5,687ha	353,320人	282,500	雨水計画の見直し	軽微な変更 (知事認可)
				5,048	323,400	279,500		
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定	平成6年5月20日 平成6年5月20日	分 流 式	2,243ha			区域拡大 836ha (404ha)	目標年次 平成14年3月
				(1,080)	76,400人	55,000		
				1,580ha	(44,700)	(37,400)		
				(978)	76,400人	55,000		
第15回 (第6期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可	平成6年2月1日 平成6年6月17日 平成6年8月12日 平成6年5月11日 平成6年7月19日	分 流 式 一 部 合 流 式	8,441ha	391,320人	323,000	区域拡大 1,530ha 浅野処理区 17ha 臨海処理区 1,109ha 犀川左岸処理区 404ha	目標年次 平成14年3月 平成14年3月
				7,217ha	346,300	320,000		
				6,174	44,700	(37,400)		
				978	391,320人	323,000		
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定	平成8年2月1日 平成8年10月7日 平成8年10月7日	分 流 式	2,313ha			区域拡大 70ha (70ha)	目標年次 平成14年3月
				(1,150)	78,000人	55,000		
				1,650ha	(46,300)	(38,600)		
				(1,048)	78,000人	55,000		
				1,650ha	(46,300)	(38,600)		
				(1,048)	(46,300)	(38,600)		

	区分	年月日	内容				特記事項	備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		
第16回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道(フレックス) 公共下水道 流域関連公共	平成8年5月21日	分流式	8,511ha	392,920人	323,000	区域拡大 安原中央地区 59ha 安原工業団地 11ha 増補幹線の位置及び管径の変更 汚泥共同処理施設の新設 幹線の追加(フレックス)	目標年次 平成11年3月 平成14年3月 平成14年3月
		平成9年6月3日		7,287ha	346,300	320,000		
		平成9年1月21日	一部合流式	6,174	46,300	(38,600)		
		平成8年7月30日		7,287ha	392,920人	323,000		
第17回	都市計画決定 都市計画法事業認可 特定環境公共 下水道法事業認可 特定環境公共	平成8年12月2日	分流式	8,536ha	394,750人	324,200	湯涌処理区の追加 25ha	目標年次 平成13年3月
		平成9年3月11日	一部合流式	7,312ha	1,830	1,200		
		平成8年12月25日		7,312ha	394,750人	324,200		
				25	1,830	1,200		
第18回	下水道法事業認可 公共下水道	平成9年10月21日	分流式 一部合流式	7,312ha	394,750人	316,200	臨海水質管理センターの処理施設 および汚泥消化タンクの変更	目標年次 平成14年3月
		平成10年7月21日		6,174	346,300	312,000		
		平成10年9月7日	分流式	8,923ha	411,610人	316,200		
		平成11年4月13日	一部合流式	8,166ha	363,000	312,000		
第19回 (第7期事業)	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス) 下水道法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス)	平成10年7月21日		66	480	3,000	区域拡大 854ha 浅野処理区 113ha 西部処理区 223ha 臨海処理区 517ha 森本丘陵処理区 1ha	目標年次 平成18年3月 平成18年3月
		平成10年9月7日		7,027	411,610人	316,200		
		平成10年8月28日		8,166ha	411,610人	312,000		
		平成11年3月31日		7,027	363,000	3,000		
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	平成9年7月25日	分流式	2,313ha (1,150)	79,000人 (46,300)	55,000 (38,600)	区域拡大 30ha (0ha)	目標年次 平成14年3月
		平成11年3月31日		1,680ha (1,048)	79,000人 (46,300)	55,000 (38,600)		
		平成11年3月27日		1,680ha (1,048)	79,000人 (46,300)	55,000 (38,600)		

	区分	年月日	内容				容			備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大	特記事項	項目	備考	
第20回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 流域関連公共	平成12年 2月14日 平成12年 6月 9日 平成12年 6月 9日 平成12年 5月24日 平成12年 5月24日	分 流 式 一 部 合 流 式	8,923ha	417,610人	327,700	区域拡大 130ha 臨海処理区 130ha 黒田、保古、湊雨水ポンプ場の設置 (浅野第4污水ポンプ場の設置) 八田・乙丸第2污水ポンプ場の廃止	目標年次 平成19年3月 平成14年3月		
				8,296ha	369,000	323,500				
				7,157	46,300	(38,600)				
				1,048	417,610人	327,700				
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	平成12年 8月 平成12年10月20日 平成12年10月20日	分 流 式	2,313ha			区域拡大 138ha (0ha) ()は金沢市分	目標年次 平成14年3月		
				(1,150)	86,300人	55,000				
				1,818ha	(46,300)	(38,600)				
				(1,048)	86,300人	55,000				
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	平成13年 6月22日 平成13年10月24日 平成13年10月24日	分 流 式	(1,218)	104,200人	68,800	区域拡大 388ha (139ha) ()は金沢市分	目標年次 平成18年3月		
				2,206ha	(52,700)	(38,300)				
				(1,187)	104,200人	68,800				
				(1,187)	(52,700)	(38,300)				
第21回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 流域関連公共	平成14年 8月21日 平成14年12月 9日 平成13年11月13日 平成14年12月 5日 平成13年11月13日	分 流 式 一 部 合 流 式	9,200ha	438,810人	327,700	区域拡大 360ha 浅野処理区 129ha 臨海処理区 92ha 犀川左岸処理区 139ha	目標年次 平成19年3月 平成18年3月		
				8,656ha	383,800	323,500				
				7,378	52,700	(38,600)				
				1,187	438,810人	327,700				
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 下水道法事業認可	平成15年 2月21日 平成15年11月17日	分 流 式	(1,235)	102,500人	68,800	区域拡大 36ha (福増・中屋地区 17ha) ()は金沢市分	目標年次 平成18年3月		
				2,242ha	(50,600)	(36,600)				
				(1,204)						

	区分	年月日	内容				事項		備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大	特記	項目	
第22回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 流域関連公共	平成16年 4月 1日	分 流 式	9,289ha	440,210人	327,700	区域拡大 153ha	3ha	目標年次 平成23年3月 平成18年3月
		平成16年11月 5日		8,809ha	387,300	323,500	浅野処理区	133ha	
		平成16年 1月29日		7,514	50,600	(36,600)	臨海処理区	17ha	
		平成16年11月 5日	一部合流式	8,809ha	440,210人	327,700	犀川左岸処理区		
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	平成15年 2月21日	分 流 式	(1,235)	114,300人	68,800	区域拡大 288ha		目標年次 平成23年3月
		平成17年 1月 6日		2,530ha	(51,000)	(34,800)	(0ha)		
		平成16年12月20日		(1,204)	114,300人	68,800	()は金沢市分		
				2,530ha	(51,000)	(34,800)			
第23回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 公共下水道(レックス) 特定環境公共 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 公共下水道(レックス) 特定環境公共 流域関連公共	平成17年 6月21日	分 流 式	9,289ha	440,610人	327,700	計画放流水質の設定		目標年次 平成23年3月 平成23年3月 平成23年3月 平成23年3月
		平成18年 3月22日		8,809ha	387,300	323,500	合流式下水道の改善施設の追加		
		平成18年 3月 3日		7,514	480	3,000	柳瀬1号雨水幹線の追加		
		平成18年 3月 3日	一部合流式	66	480	3,000			
第24回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業認可 公共下水道	平成19年 2月13日	分 流 式	9,313ha	442,610人	327,700	区域拡大 24ha	24ha	目標年次 平成23年3月
		平成19年 3月30日		8,833ha	389,300	323,500	臨海処理区		
		平成19年 3月 3日	一部合流式	7,538	442,610人	327,700			
		平成19年 3月30日		8,833ha	389,300	323,500			

	区分	年月日	内容				備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大	
第 25 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業認可 公共下水道	平成19年12月14日		9,337ha	443,810人	327,700	区域拡大 23ha 臨海処理区 23ha 目標年次 平成23年3月
		平成20年 3月18日	分 流 式	8,856ha 7,561	390,500 443,810人	323,500 327,700	
		平成20年 3月12日	一部合流式	7,561	390,500	323,500	
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可	平成15年 2月21日	分 流 式	(1,235)	116,200人	68,800	区域拡大 97ha (0ha) 目標年次 平成28年3月 ()は金沢市分
		平成21年 7月 1日		2,627ha (1,204)	(51,400)	(33,200)	
		平成21年 6月 4日		2,627ha (1,204)	116,200人 (51,400)	68,800 (33,200)	
第 26 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共	平成21年12月28日	分 流 式	9,343ha	423,640人	327,700	区域拡大 13ha 浅野処理区 1ha 西部処理区 8ha 臨海処理区 4ha 合流式下水道の改善施設の追加 神宮寺2号雨水幹線の追加 目標年次 平成28年3月 平成28年3月 平成28年3月 平成28年3月
		平成22年 4月16日		8,869ha 7,574	370,700 400	323,500 3,000	
		平成22年 4月16日		66 25 1,204	1,140 51,400	1,200 (33,200)	
第 27 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共	平成22年 3月24日	一部合流式	8,869ha	423,640人	327,700	辰巳町雨水幹線の追加 区域拡大 110ha 浅野処理区 29ha 臨海処理区 30ha 犀川左岸処理区 51ha 合流式下水道の改善施設の變更 末排水区雨水幹線の追加 目標年次 平成28年3月 平成28年3月
		平成22年 3月24日		7,574 66	370,700 400	323,500 3,000	
		平成22年 3月24日		25 1,204	1,140 51,400	1,200 (33,200)	
第 27 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道 流域関連公共	平成24年 3月30日	分 流 式	9,343ha	426,340人	327,700	区域拡大 110ha 浅野処理区 29ha 臨海処理区 30ha 犀川左岸処理区 51ha 合流式下水道の改善施設の變更 末排水区雨水幹線の追加 目標年次 平成28年3月 平成28年3月
		平成24年 4月27日		8,979ha 7,633	372,600 52,200	323,500 (33,200)	
		平成24年 4月27日		1,255 8,979ha	426,340人	327,700	
平成24年 3月30日		一部合流式	7,633 1,255	372,600 52,200	323,500 (33,200)		

	区分	年月日	内容				備考	
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		特記事項
第28回	都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業計画変更 公共下水道	平成26年 5月16日	分流式	8,987ha 7,707	430,040人 376,700	268,000 266,800	区域拡大 8ha 浅野処理区 4ha	目標年次
		平成26年 3月14日	一部合流式	8,987ha 7,707	430,040人 376,700	268,000 266,800	臨海処理区 4ha 臨海処理区第12分区を追加 (森本丘陵処理区 66ha分) 処理施設規模の縮小 鞍月小学校貯留施設の追加	
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画法事業認可 下水道法事業計画変更	平成26年11月28日	分流式	2,724ha (1,255)	120,400人 (52,900)	50,300 (26,700)	区域拡大 97ha (51ha)	目標年次
		平成26年 6月 9日		2,724ha (1,255)	124,000人 (52,900)	50,300 (26,700)	()は金沢市分	平成32年3月
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	下水道法事業計画変更	平成27年11月10日	分流式	2,761ha (1,255)	121,400人 (52,900)	50,300 (22,900)	区域拡大 37ha (0.2ha)	目標年次
							()は金沢市分	平成32年3月
第29回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共 下水道法事業計画変更 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共	平成28年 3月22日		9,343ha			金沢市テクノパーク水質管理管理ステーション 及び吐口の廃止	目標年次 廃止 平成33年3月 平成32年3月
		平成28年 3月31日		8,992ha	430,385人	267,550	区域拡大 5ha 湯涌処理区 5ha 犀川左岸処理区 0.2ha	
		平成28年 2月 5日	分流式	30	785	750		
		平成28年 2月 5日		1,255	52,900	(22,900)		
		平成28年 3月31日		8,992ha	430,385人	267,550		
		平成27年11月18日		30	785	750		
		平成27年11月18日		1,255	52,900	(22,900)		

	区分	年月日	内容				特記事項	備考
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		
第 30 回	都市計画決定	平成29年12月21日		9,372ha			農業集落排水(薬師谷地区)の公共 下水道区域編入(29ha)	面積上段:汚水 面積下段:雨水
	都市計画法事業認可 公共下水道	平成30年 6月22日	分 流 式	9,021ha 8,962ha	442,885人 389,200	267,550 266,800	区域拡大 29ha 臨海処理区 29ha(汚水)	
	下水道法事業計画変更			7,736 7,707				
	公共下水道	平成30年 6月 1日	一 部 合 流 式	9,021ha 8,962ha	442,885人 389,200	267,550 266,800	戸室新保次期理立場浸出水の受入れに 伴う汚水量見直し 施設の点検の方法及び頻度を記載 区域面積を汚水と雨水を別々に定める	
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道		平成30年11月16日	分 流 式	2,741ha (1,235)	126,000人 (54,300)	50,300 (23,300)	区域縮小 ▲20ha (▲20ha) ()は金沢市分	目標年次 平成37年3月
第 31 回	都市計画法事業認可			9,003ha 8,942ha	444,225人	267,550	区域拡大 2ha 湯涌処理区 2ha(汚水)	面積上段:汚水 面積下段:雨水
	特定環境公共 流域関連公共	平成30年11月27日 平成30年11月27日	分 流 式	32 1,235 1,235	725 54,300	750 (23,300)	区域縮小 ▲20ha 犀川左岸処理区 ▲20ha(汚水・雨水)	
	下水道法事業計画変更			9,003ha 8,942ha	444,225人	267,550		
	特定環境公共 流域関連公共	平成30年11月16日 平成30年11月16日		32 1,235 1,235	725 54,300	750 (23,300)	施設の点検の方法及び頻度を記載	

	区分	年月日	内容				備考	
			処理方式	区域面積 ha	人口 人	処理能力 m ³ /日最大		特記事項
第32回	都市計画決定	令和2年4月1日		9,352ha 9,491ha			面積上段:汚水 面積下段:雨水	
	都市計画法事業認可 公共下水道	令和2年6月9日	分 流 式	9,218ha 9,278ha	462,125人 405,500	267,550 266,800	区域拡大(臨海、犀川左岸、湯涌) 56ha(汚水)、57ha(雨水) 区域縮小(浅野、西部、臨海、湯涌)及び 区域面積をデジタル化により算出した数 値に移行 ▲76ha(汚水)、62ha(雨水) 区域面積を汚水と雨水を別々に定める	
	流域関連公共	令和2年6月9日		7,936 8,028 1,250 1,250	55,900	(23,100)	区域拡大(臨海) 34ha(汚水)、42ha(雨水)	
	下水道法事業計画変更		一 部 合 流 式	9,218ha 9,278ha	462,125人	267,550	区域縮小(浅野、西部、臨海)及び 区域面積をデジタル化により算出した数 値に移行 166ha(汚水)、279ha(雨水)	
	公共下水道	令和2年5月29日		7,936 8,028	405,500	266,800	区域拡大(犀川左岸) 15ha(汚水)、15ha(雨水)	目標年次 令和6年3月
	流域関連公共	令和2年5月29日		1,250 1,250	55,900	(23,100)		令和7年3月
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画法事業認可	令和3年3月30日	分 流 式	2,764ha (1,250)	128,000人 (55,900)	50,100 (23,100)	区域拡大 23ha (15ha)	目標年次 令和7年3月
	下水道法事業計画変更	令和3年3月4日		2,764ha (1,250)	128,000人 (55,900)	50,100 (23,100)	()は金沢市分	
第33回	都市計画法事業認可	令和3年3月30日	分 流 式	9,218ha 9,278ha	462,125人 405,500	267,550 266,800	排水区の変更に及び雨水の主要な管渠の 追加(臨海処理区)	面積上段:汚水 面積下段:雨水
	公共下水道 下水道法事業計画変更	令和3年3月30日	一 部 合 流 式	7,936 8,028 9,218ha 9,278ha	462,125人 405,500	267,550 266,800		目標年次 令和6年3月
	公共下水道	令和3年3月30日		7,936 8,028	405,500	266,800		令和6年3月

2 下水道整備計画の概要

区分	処理区名	全体計画(目標年次令和17年度)					事業計画(目標年次令和5年度)					備考
		処理人口	処理面積	処理場	ポンプ場		処理人口	処理面積	処理場	ポンプ場		
					汚水	雨水				汚水	雨水	
単 独 公 共	浅野処理区	人 162,520	ha 3,141	1	6	1	人 163,600	ha 3,037	1	6	1	
〃	西部処理区	137,770	2,308	1	1	1	140,200	2,308	1	1	1	
〃	臨海処理区	102,220	2,626	1	3	1	101,700	2,591	1	3	1	
	森本丘陵 処理区						(400)	(66)	(1)	—	—	平成26年度 臨海処理区に 統合
小計		402,510	8,075	3	10	3	405,500	7,936	(1) 3	10	3	
流域関連 公共	犀川左岸 処理区	54,640	1,250	—	—	2	55,900	1,250	—	—	2	目標年次 令和6年度
単 独 特 環	湯涌処理区	675	32	1	—	—	725	32	1	—	—	目標年次 令和5年度
合計		457,825	9,357	4	10	5	462,125	9,218	(1) 4	10	5	

注:森本丘陵処理区はフレックスプランによる整備で、平成26年度に管渠を臨海処理区に接続し、処理場を廃止した。

金沢市の公共下水道事業計画は、昭和37年に旧市街地を中心とする2,364ヘクタールの全体計画を策定しました。

その後、都市計画決定による市街化区域の拡大に伴い、順次、全体計画を見直し、令和2年度には、浅野、西部、臨海、犀川左岸、湯涌の5処理区で9,357ヘクタールとしています。

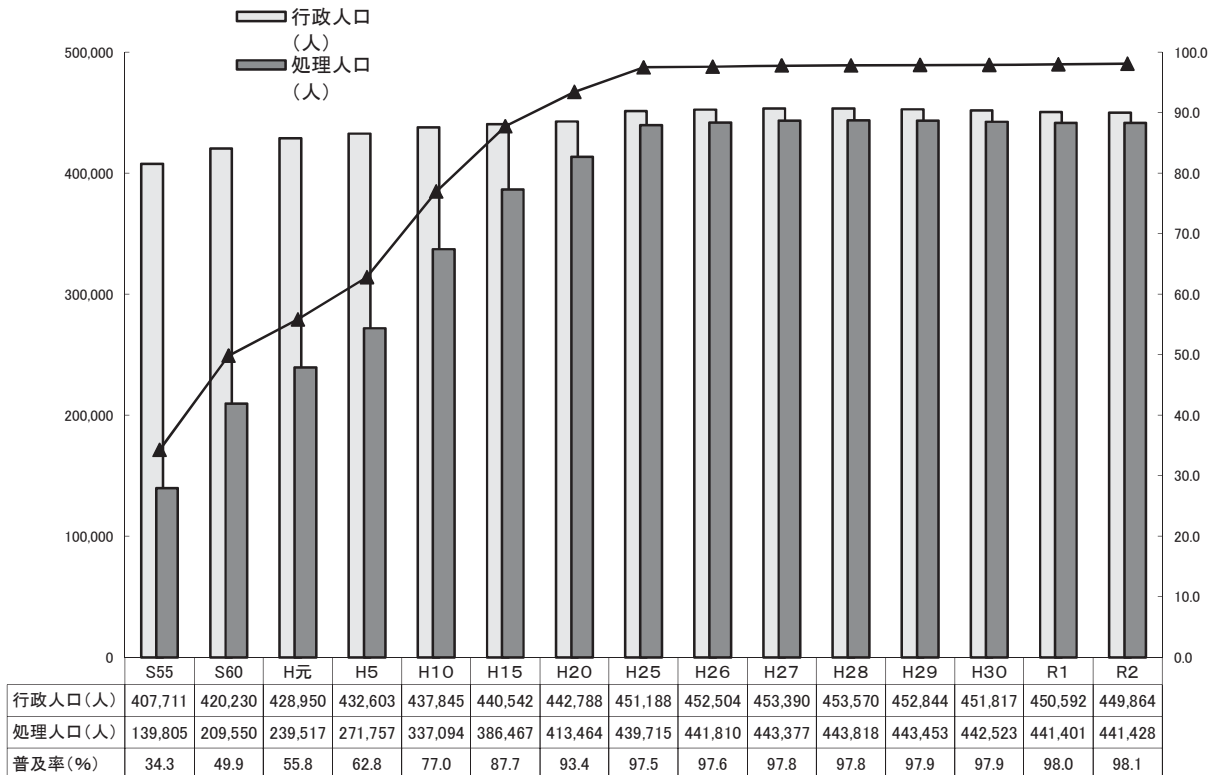
排除方式	合流式	404	ヘクタール
	分流式	8,953	ヘクタール
終末処理場	城北水質管理センター	高級処理	9系列 犀川以北の地区の汚水を処理
	西部水質管理センター	高級処理	4系列 犀川以南の地区の汚水を処理
	臨海水質管理センター	高級処理	4系列 犀川以北及び北陸自動車道より日本海までの地区の汚水を処理
	湯涌水質管理ステーション	高級処理	2系列 湯涌地区の汚水を処理

3 下水道整備の現況

(1) 整備概要

区分	処理区名	事業計画					2年度末整備状況					備考
		処理人口	処理面積	処理場	ポンプ場		処理人口	整備面積	処理場	ポンプ場		
					汚水	雨水				汚水	雨水	
単 独 公 共	浅野処理区	人 163,600	ha 3,037	箇所 1	箇所 6	箇所 1	人 150,790	ha 2,932	箇所 1	箇所 6	箇所 1	昭和44年4月 供用開始
"	西部処理区	140,200	2,308	1	1	1	137,161	2,264	1	1	1	昭和55年7月 供用開始
"	臨海処理区	101,700	2,591	1	3	1	97,084	2,454	1	3	1	平成6年10月 供用開始
小計		405,500	7,936	3	10	3	385,035	7,650	3	10	3	
流域関連 公 共	犀川左岸 処理区	55,900	1,250	-	-	2	55,928	1,229	-	-	2	平成6年12月 供用開始
単 独 特 環	湯涌 処理区	725	32	1	-	-	465	29	1	-	-	平成13年4月 供用開始
合計		462,125	9,218	4	10	5	441,428	8,908	4	10	5	

(2) 普及率の推移



(3) 面整備の現況

処理区	処理分区	事業計画			2年度末整備状況		
		処理面積 ha	計画人口 人	管渠延長 m	整備面積 ha	処理人口 人	管渠延長 m
浅野処理区	城東第1	26	2,390	824,300	26	150,790	791,604
	城西	200	15,310		200		
	長田	126	7,300		126		
	城東第2	319	20,200		313		
	上諸江	77	5,120		77		
	田上	320	18,650		312		
	浅野第1	71	5,440		69		
	浅野第2	330	15,560		299		
	城南	419	26,930		419		
	駅西	437	23,120		437		
	柳橋	393	18,920		383		
	高柳	113	3,410		100		
	金川	34	1,080		34		
	金沢大学	171	170		137		
小計	3,037	163,600	2,932				
西部処理区	第1	490	30,090	608,200	489	137,161	586,175
	第2	220	14,570		217		
	第3	160	13,090		160		
	第4	114	7,910		114		
	第6	271	16,350		267		
	第7	141	7,870		141		
	第8	95	5,480		95		
	第9	255	15,520		255		
	額	338	21,650		337		
	未	223	7,670		190		
小計	2,308	140,200	2,264				
臨海処理区	第1	121	7,740	655,000	121	97,084	603,777
	第2	226	11,490		218		
	第3	204	1,570		191		
	第4	436	23,800		435		
	第5	239	5,720		225		
	第6	440	20,810		399		
	第7	90	2,940		90		
	第8	138	7,620		138		
	第9	215	5,550		167		
	第10	137	4,280		130		
	第11	217	9,790		212		
	第12	128	390		128		
	小計	2,591	101,700		2,454		
犀川左岸処理区	八日市南	46	14,530	310,000	46	55,928	292,987
	八日市北	39			39		
	新保本南	27			27		
	新保本北	59			59		
	松島	25			25		
	神野	11			11		
	古府東	15			15		
	古府北	46			46		
	豊穂	99			99		
	下安原南	201			183		
	下安原北	11	11				
	専光寺	268	265				
	押野	30	30				
	米泉	82	82				
	保古	67	67				
	黒田	81	81				
	上荒屋	90	90				
	森戸西	4	4				
	矢木南	7	7				
	矢木北	29	29				
森戸東	11	11					
小計	1,250	55,900	1,229				
(森本丘陵処理区)	(66)	(400)	(7,790)	(66)	—	(7,386)	
湯涌処理区	32	725	12,500	29	465	12,095	
合計	9,218	462,125	2,410,000	8,908	441,428	2,286,638	

注1 森本丘陵処理区はフレックスプランによる整備であり()内数字は臨海処理区第12分区に含まれる。
 注2 個々の分区について小数点以下を四捨五入した数値を記入するため、端数の関係で計が一致しない場合がある。

(4) ポンプ場施設の現況

名 称	処理区	敷地面積 m ²	区分	事 業 計 画		2 年 度 末 整 備 状 況	
				施設能力 m ³ /分	ポンプ施設	施設能力 m ³ /分	ポンプ施設
七ツ屋 ポンプ場	浅野	1,579.22	雨水	610.00	140m ³ /分×2台 330m ³ /分×1台	610.00	140m ³ /分×2台 330m ³ /分×1台
			汚水	147.00	35m ³ /分×3台 42m ³ /分×2台(1)	146.60	34.8m ³ /分×3台 42.2m ³ /分×2台(1)
駅西汚水中継 ポンプ場	浅野	146.98	汚水	3.10	3.1m ³ /分×2台(1)	5.80	2.9m ³ /分×3台(1)
小橋汚水中継 ポンプ場	浅野	98.85	汚水	17.10	5.7m ³ /分×3台	12.80	6.4m ³ /分×3台(1)
乙丸第一汚水 中継ポンプ場	浅野	852.85	汚水	5.80	2.9m ³ /分×2台	8.80	4.4m ³ /分×3台(1)
上諸江汚水 中継ポンプ場	浅野	2,397.00	汚水	12.30	12.3m ³ /分×2台(1)	15.30	15.3m ³ /分×2台(1)
横枕汚水 中継ポンプ場	浅野	1,222.63	汚水	9.20	4.6m ³ /分×3台(1)	11.26	5.63m ³ /分×2台 6.8m ³ /分×1台(1)
高島汚水中継 ポンプ場	西部	526.00	汚水	2.10	2.1m ³ /分×2台(1)	7.00	7.0m ³ /分×2台(1)
栗崎第一汚水 中継ポンプ場	臨海	507.11	汚水	5.10	1.7m ³ /分×3台	5.20	2.6m ³ /分×3台(1)
大浦汚水 中継ポンプ場	臨海	1,987.67	汚水	21.00	7.0m ³ /分×3台	16.60	5.4m ³ /分×2台 5.8m ³ /分×1台 9.5m ³ /分×1台(1)
木越汚水 中継ポンプ場	臨海	1,945.38	汚水	16.20	5.4m ³ /分×3台	13.10	5.3m ³ /分×1台 7.8m ³ /分×2台(1)
戸板雨水 ポンプ場	浅野	576.21	雨水	142.20	71.1m ³ /分×2台	142.20	71.1m ³ /分×2台
高島雨水 ポンプ場	西部	972.00	雨水	218.40	109.2m ³ /分×2台	218.40	109.2m ³ /分×2台
保古雨水 ポンプ場	犀川 左岸	3,500.00	雨水	438.60	146.2m ³ /分×3台	439.20	146.4m ³ /分×3台
古府雨水 ポンプ場	犀川 左岸	1,340.00	雨水	330.00	110.0m ³ /分×3台	329.40	109.8m ³ /分×3台
湊雨水 ポンプ場	臨海	3,170.66	雨水	318.00	159.0m ³ /分×2台	318.00	159.0m ³ /分×2台

※ ()は予備ポンプの数量である。

(5) 終末処理場施設の現況

処理場名		城 北	西 部	臨 海	(金沢テクノパーク	湯 涌	
概 要		水質管理センター	水質管理センター	水質管理センター	水質管理ステーション	水質管理ステーション	
所 在 地		金沢市浅野本町 ホ131番地	金沢市東力町 ハ272番地	金沢市湊 3丁目5番地8	(金沢市北陽台 2丁目74番地)	金沢市 湯涌荒屋町16番	
敷 地 面 積		141,323.58㎡	44,016.94㎡	97,674.11㎡	(8,100㎡)	4,403㎡	
処 理 面 積	全体計画	3,141ha	2,308ha	2,626ha	-	32ha	
	認可計画	3,037ha	2,308ha	2,591ha	(66ha)	32ha	
	整備状況	2,932ha	2,264ha	2,454ha	(66ha)	29ha	
処 理 人 口	全体計画	162,520人	137,770人	102,220人	-	675人	
	認可計画	163,600人	140,200人	101,700人	(400人)	725人	
	整備状況	150,790人	137,161人	97,084人	-	465人	
処 理 能 力	晴天時最大	全体計画	156,000m ³ /日	64,800m ³ /日	46,000m ³ /日	-	750m ³ /日
		事業計画	156,000m ³ /日	64,800m ³ /日	46,000m ³ /日	(3,000m ³ /日)	750m ³ /日
		整備状況	156,000m ³ /日	64,800m ³ /日	46,000m ³ /日	(1,500m ³ /日)	750m ³ /日
	雨天時最大	全体計画	269,000m ³ /日	-	-	-	-
		事業計画	269,000m ³ /日	-	-	-	-
		整備状況	269,000m ³ /日	-	-	-	-
排 除 方 式		分 流 式 (一部合流式)	分 流 式	分 流 式	(分 流 式)	分 流 式	
処 理 方 式		標 準 活 性 汚 泥 法	標 準 活 性 汚 泥 法	標 準 活 性 汚 泥 法	(オキシデーション デイツチ法)	オキシデーション デイツチ法 + 接 触 曝 気 法	
放 流 先		浅野川(2級河川)	伏見川(2級河川)	大野川(2級河川)	(森下川(2級河川))	浅野川(2級河川)	
(水質環境基準)		B-ロ	E-ハ	C-イ	(A-イ)	A-イ	
備 考		昭和44年4月 供用開始	昭和55年7月 供用開始	平成6年10月 供用開始	平成6年12月 供用開始 平成27年3月 廃止	平成13年4月 供用開始	

(6) 農村下水道の現況

○整備概要 (※供用開始順)

区分	処理区名	処理施設所在地	計画戸数	計画人口	計画面積	事業採択	事業期間	供用開始	処理方式	処理能力	放流河川	2年度末管路延長	2年度末中継ポンプ	2年度末処理人口
農業集落排水	俵	俵町ヨ1	戸 23	人 150	ha 4.1	S59.3	S59～S61	S62. 4. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前置型)	m ³ /日 49.5	(普通河川) 浅野川	m 1,599	箇所 0	人 60
農業集落排水	三谷	正部町ラ2	110	690	16.0	S62.4	S62～H 7	H 2.10.15	接触曝気方式 JARUS-III型	187.0	森下川	5,594	4	296
農業集落排水	東原	東原町 コ60-2	40	230	6.0	S63.4	S63～H 3	H 3.10. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	62.1	(清水谷川) 森下川	1,634	1	87
農業集落排水	竹又	竹又町 イ20	31	140	6.0	H 1.4	H 1～H 3	H 4. 5. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	37.8	(清水谷川) 森下川	845	1	56
農業集落排水	別所	蓮花町 ロ134-1	180	1,230	25.0	H 2.4	H 2～H 5	H 5. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-III型	332.1	(排水路) 犀川	5,467	3	451
県単 特定農村 下水道	清水谷	清水谷町 イ212	16	120	1.4	H 3.4	H 3～H 4	H 5. 4. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前置型 FRP槽)	24.0	(清水谷川) 森下川	408	0	35
農業集落排水	二俣	二俣町 ヘ1-2	144	680	15.0	H 3.4	H 3～H 6	H 6. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-III型	183.6	(用排水路) 森下川	3,859	11	327
農業集落排水	北袋	北袋町イ6	137	740	21.0	H 4.4	H 4～H 8	H 7. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-III型	200.0	浅野川	6,509	8	375
[緊急] 農業集落 排水	戸室新保	戸室新保 町リ61-15	38	220	12.0	H 5.4	H 5～H 9	H 8. 9. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	59.4	(ため池) 金腐川	4,058	5	121
小規模 集合排水 処理施設	山川	山川町 式字34	16	130	4.0	H 7.4	H 7～H 9	H 9.10. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前置型 FRP槽)	26.0	(排水路) 犀川	883	0	44
農業集落排水	直江谷	納年町 イ63	213	900	43.0	H 6.4	H 6～H11	H10. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-III型	243.0	(用排水路) 森下川	10,560	8	390
農業集落排水	田島	田島町 ヤ66	85	370	6.0	H 7.4	H 7～H11	H10. 5. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	99.9	(田島川) 森下川	2,275	7	190
[緊急] 農業集落 排水	土子原	土子原町 チ3-3	29	120	6.6	H 7.4	H 7～H10	H10. 9. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	32.4	(桐山川) 森下川	1,793	2	46
小規模 集合排水 処理施設	曲子原	曲子原町 チ84-3	21	200	7.2	H 7.4	H 7～H10	H10. 9. 1	接触曝気方式 (流量調整槽前置型)	40.0	(桐山川) 森下川	1,410	1	32
農業集落排水	小池	小池町 南33	35	280	10.0	H 8.4	H 8～H11	H11. 5. 1	連続流入間欠 曝気方式 JARUS-XIV型	75.6	(ため池) 森下川	2,379	3	172
小規模 集合排水 処理施設	中山	中山町ヨ47	18	160	3.4	H 9.4	H 9～H12	H12. 8. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前置型 FRP槽)	32.0	(排水路) 浅野川	1,222	1	56
農業集落排水	中戸	天池町参 字207-1	32	270	7.1	H 9.4	H 9～H12	H12.10. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	72.9	(排水路) 犀川	1,692	0	114
農業集落排水	福畠	福畠町 185-1	29	120	6.8	H12.4	H12～H14	H15. 6. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	32.4	(深谷川) 森下川	3,306	8	60
農業集落排水	湯浅	茅原町 ハ62	42	170	9.6	H12.4	H12～H15	H16. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	45.9	浅野川	3,719	7	99
農業集落排水	小原	小原町 タ47	40	150	5.1	H15.4	H15～H18	H18. 6. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	40.5	(排水路) 犀川	2,020	1	86
合計			1,279	7,070	215.3							61,232	71	3,097

※平成13年4月1日 芝原地区を湯涌処理区に統合

※令和2年4月1日 薬師谷地区を臨海処理区に統合

4 処理場・ポンプ場施設の概要

(1) 城北水質管理センター

所在地 金沢市浅野本町ホ131番地

操業開始 昭和44年4月

主要施設

(共通管理施設)		
管 理 棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積1,489.95㎡
水 質 試 験 棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 943.06㎡
特 高 受 変 電 室	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積 706.42㎡
自 家 発 棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 810.37㎡
(水処理共通施設)		
浅 野 ポ ン プ 場	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積2,232.37㎡
(沈砂池施設)		
雨 水 沈 砂 池	長さ 幅 有効水深 内法 16.0m × 5.0m × 1.9m	5池
汚 水 沈 砂 池	内法 16.0m × 2.3m × 0.6m (分流系)	2池
	内法 16.0m × 1.5m × 0.6m (合流系)	1池
(処理水再利用施設)		
処 理 水 貯 留 施 設	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 398.94㎡
(第1水処理系)		
分 水 井	長さ 幅 有効水深 内法 6.5m × 6.8m × 3.2m	1池
最 初 沈 殿 池	内法 37.6m × 14.4m × 3.2m	5池
滞 水 池	内法 37.6m × 14.4m × 2.8m	2池
反 応 タ ン ク	内法 51.4m × 7.0m × 4.5m × 2水路/池	7池
最 終 沈 殿 池	内法 29.6m × 17.7m × 3.3m	7池
塩 素 混 和 池	内法 234.0m × 3.0m × 2.6m	1池
滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 588.80㎡
機 械 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積2,572.08㎡
用 水 電 気 棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 182.38㎡
(第2水処理系)		
着 分 配 槽	長さ 幅 有効水深 内法 6.5m × 6.7m × 5.1m	1池
最 初 沈 殿 池	内法 28.0m × 12.2m × 3.0m	2池
反 応 タ ン ク	内法 112.0m × 6.1m × 6.0m	2池
最 終 沈 殿 池	内法 47.0m × 12.2m × 3.0m	2池
塩 素 混 和 池	内法 131.5m × 2.5m × 3.0m	1池
滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 212.62㎡
ブ ロ ヲ 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,399.21㎡
(汚泥処理系)		
汚 泥 濃 縮 タ ン ク	鉄筋コンクリート造 内径 14.4m×3.0m	2基
消 化 タ ン ク	鉄筋コンクリート造 内径 18.0m×8.4m	4基
卵 形 消 化 タ ン ク	プレストレストコンクリート造 最大内径 16.6m×25.9m	3,100m ³ 3基
汚 泥 洗 浄 タ ン ク	鉄筋コンクリート造 内径 16.6m×3.0m	2基

ガスタック	乾式低圧ガスホルダー 内径 16.5m×19.9m	3,000m ³	1基
	乾式低圧ガスホルダー 内径 16.5m×21.3m	2,500m ³	1基
ボイラー棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 243.47m ²	
工 作 室	軽量鉄骨造 1階建	延面積 170.00m ²	
汚 泥 濃 縮 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,633.56m ²	
汚 泥 処 理 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階/地上3階	延面積4,285.18m ²	
熱 交 換 器 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上5階	延面積1,866.83m ²	
終沈汚泥ポンプ操作室	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 626.69m ²	
生汚泥し渣除去施設	鉄骨造 1階建	延面積 132.17m ²	

主要機器

(浅野ポンプ場)		
雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ 1,100mm×170m ³ /min×280kW(先行待機型)	1台
	” 1,500mm×280m ³ /min×500kW	4台
汚水ポンプ	立軸斜流ポンプ 500mm× 35m ³ /min×115kW	4台
機械設備	自動除塵機	13基
	沈砂掻揚機(汚水系沈砂)	3基
	揚砂装置(汚水系、雨水系)	各1式
	グラブバケットクレーン(0.54t・雨水系沈砂)	1基
	雨水集砂装置	1式
	沈砂分離機	1式
	沈砂・し渣ホッパ	各1基
脱臭設備	活性炭吸着塔	1基
(第1水処理系)		
汚泥掻寄機	初沈(メイン1基・クロス1基)×5池	計10基
	終沈(メイン2基・クロス1基)×7池	計21基
曝気用エアレーター	水中機械式曝気機 3台/水路×2水路/池×7池	計42台
曝気用送風機	多段ターボブロー 106m ³ /min×53.9kPa 150kW×3,300V	4台
滅菌装置	次亜塩貯留タンク 有効容量8.0m ³ /基	4基
	次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ° 0.6ℓ/min	4台
脱臭設備	生物脱臭装置 300m ³ /min×3.2kPa 30kW	1基
(第2水処理系)		
汚泥掻寄機	初沈 メイン1基×2池	計2基
	終沈 メイン1基×2池	計2基
曝気用送風機	多段ターボブロー 52m ³ /min×66.6kPa 110kW×3,300V	2台
反応タンク攪拌機	嫌気槽攪拌機 1.5kW 2台/池×2池	計4台
滅菌装置	次亜塩貯留タンク 有効容量6.0m ³ /基	1基
	次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ° 0.25ℓ/min	2台
脱臭設備	生物脱臭装置 150m ³ /min×2.2kPa 15kW	1基
(汚泥処理系)		
卵形消化タンク加温用温水器	伝熱面積 7.8m ² 本体出力 2,090MJ/h	2台
卵形消化タンク加温用熱交換器	スパイラル式 交換熱量 921MJ/h	4基
汚泥濃縮機	ベルト型濃縮機 40m ³ /h	2基
汚泥脱水機	高効率スクーププレス脱水機 280kg・DS/h/台	3台
	高効率ベルトプレス脱水機 90kg・DS/m・h×3m	1台

ケーキ貯留ホッパ 脱臭設備	有効容量 25m ³	2基
	生物脱臭装置 30m ³ /min×3.2kPa 3.7kW	1基
	活性炭吸着塔	4基
(処理水再利用系) ろ過設備	浮上ろ材ろ過機 ろ過水量1.4m ³ /min	3基
	上向流式砂ろ過機 ろ過水量0.43m ³ /min	8基

電気計装設備

特高受変電設備	77kV GIS受変電設備	1式
	主要変圧器 5,000kVA	1台
自家用発電設備	ディーゼル発電設備 出力2,500kVA×3,300V	2台
	消化ガス発電設備 出力25kW×200V	8台
	小水力発電設備 最大出力2.6kW×200V	1基
	風力発電設備 最大出力3.0kW×200V	1基
監視制御設備	分散型制御装置 現場電気室設置制御装置	9組
	中央監視室設置制御装置(CRT)	5組
	汚泥監視室設置制御装置(CRT)	1組
	遠方監視制御装置 管渠水位・雨量計測TM/TC	9組
情報処理装置	汚水中継ポンプ場TM/TC	(3組)
	主CPU(6MB)	1式
	補助記憶装置(132MB×2)	1式
	CRT・プリンター他周辺装置	1式

〔汚泥共同処理施設〕

操業開始 1号焼却炉 平成12年4月
2号焼却炉 平成22年4月

主要施設

ケーキ受入管理棟 焼却炉棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階	延面積2,703.44m ²
	1号 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上3階	延面積1,236.39m ²
	2号 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上3階	延面積1,098.34m ²

主要機器

(ケーキ受入管理棟)	ケーキ受入ホッパ 有効容量 150m ³	2基
	トラックスケール 0~30t	1基
	ケーキ圧送ポンプ ダブルシリンダー式 10m ³ /h(MAX)	4台
	脱臭設備 活性炭吸着塔	1基
(1号焼却炉棟)	定量フィーダ 有効容量 30m ³	1基
	ケーキ供給ポンプ 一軸ねじ式 4.4t/h(MAX)	2台
	汚泥焼却炉 流動床式 80t/d	1基
	空気予熱器 シェル&チューブ式 4,437MJ/h	1基
	白煙防止予熱器 シェル&チューブ式 3,314MJ/h	1基
	温水熱交換器 真空式 1,967MJ/h	1基
	集塵装置 バグフィルタ 12,000Nm ³ /h	1基
	灰ホッパ 有効容量 30m ³	1基

灰 加 湿 機	パンミキサー式 10t/h	1基
排 煙 処 理 塔	14,500Nm ³ /h	1基
(2号焼却炉棟)		
定 量 フ ィ ー ダ	有効容量 30m ³	1基
ケ ー キ 供 給 ポ ン プ	一軸ねじ式 4.0t/h(MAX)	2台
汚 泥 焼 却 炉	流動床式 70t/d	1基
空 気 予 熱 器	Uチューブ型 4,600MJ/h	1基
白 煙 防 止 予 熱 器	シェル&チューブ式 3,200MJ/h	1基
温 水 熱 交 換 器	真空式 1,800MJ/h	1基
集 塵 装 置	セラミックフィルタ 11,000Nm ³ /h	1基
灰 ホ ッ パ	有効容量 30m ³	1基
灰 加 湿 機	パンミキサー式 5t/h	1基
排 煙 処 理 塔	16,000Nm ³ /h	1基
消 石 灰 添 加 装 置	自動可変連続定量供給機 9.6ℓ/h	1基

〔浅野第4ポンプ場〕

操 業 開 始 平成18年4月

流 入 区 域 浅野第二分区(乙丸町、浅野本町、京町の一部)、高柳分区(沖町、高柳町等)43haの汚水を浅野ポンプ場へ中継

主 要 施 設

上 屋	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 174.90m ²
汚 水 沈 砂 ポ ン プ 井	内法 長さ4.5m×幅3.9m×有効水深0.8m	2池

主 要 機 器

汚 水 ポ ン プ	水中スクリーウ汚水ポンプ 150mm×2.8m ³ /min×15kW	2台
機 械 設 備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
	活性炭吸着塔	1基
電 気 設 備	(低圧受配電設備 城北水質管理センターより送電)	1式

〔浅野雨水ポンプ場〕

操 業 開 始 平成18年6月

主 要 施 設

上 屋	鉄筋コンクリート造 地下4階/地上3階	延面積 7,427.43m ²
-----	---------------------	----------------------------

主 要 機 器

雨 水 ポ ン プ	立軸渦巻斜流ポンプ 1,350mm×201m ³ /min×1,400kW	4台
排 水 ポ ン プ	水中スクリーウ式渦巻ポンプ 250mm×7.0m ³ /min × 75kW	2台
機 械 設 備	自動除塵機	4基
	揚砂ポンプ(雨水系沈砂)	4台
	沈砂及びし渣洗浄設備	各1式
	沈砂及びし渣ホッパ	各1基
	活性炭吸着塔	1基
電 気 計 装 設 備	高圧受配電設備(3.3kV 城北水質管理センターより送電)	1式
	ディーゼル発電設備 出力 4,500kVA×3,300V	2台
	監視制御装置	(1組)
	(城北水質管理センターの分散型制御装置にて制御)	

〔浅野第2ポンプ場〕

操 業 開 始 平成22年9月
流 入 区 域 城南分区(幸町、城南1丁目、小立野1丁目等)450haの汚水を
 城北水質管理センターへ中継
主 要 施 設

汚水沈砂ポンプ井	水路幅 1,000mm×深さ 5,200mm	2池
----------	------------------------	----

主 要 機 器

汚水ポンプ 機械設備	立軸渦巻斜流ポンプ 350mm×11m ³ /min×55kW	3台
	自動除塵機	2基
	し渣破碎機	1台
	揚砂装置	2基
	集砂装置	6基
電気計装設備	汚水ポンプ制御盤	3面

〔浅野ポンプ場系統滞水池〕

操 業 開 始 平成27年4月

主 要 施 設

上 屋	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 375.94m ²
-----	---------------------	--------------------------

主 要 機 器

(汚水沈砂池ポンプ設備)		
汚水ポンプ 機械設備	水中汚水ポンプ 250mm×5.31m ³ /min×15.0kW	3台
	粗目スクリーン	1台
	し渣破碎機	1台
	腐植質脱臭剤式脱臭装置	1基
(浅野2号幹線系)		
滞水池 排水ポンプ 機械設備	内法 30.0m × 24.0m × 2.1m	1池
	水中汚水ポンプ 150mm×2.09m ³ /min×7.5kW	2台
	自然通風型脱臭装置	1基
(浅野雨水ポンプ場系)		
滞水池	内法 36.0m × 5.0m × 10.5m	1池
	25.0m × 24.0m × 6.9m	1池
排水ポンプ 機械設備	水中汚水ポンプ 300mm×8.34m ³ /min×30.0kW	2台
	自然通風型脱臭装置	2基
電気計装設備	高圧受変電設備 (3.3kV 城北水質管理センターより送電)	1式
	配電設備	1式
	監視制御装置	1式

(2) 西部水質管理センター

所在地 金沢市東力町ハ272番地

操業開始 昭和55年7月

主要施設

(共通管理施設)		
本館沈砂池	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上4階	延面積5,644.23㎡
受変電室	鉄骨造 1階建	延面積 155.80㎡
(水処理施設)	長さ 幅 有効水深	
沈砂池	内法 12.2m × 2.5m × 0.9m	3池
最初沈殿池	内法 21.0m × 11.2m × 3.0m	5池
	内法 21.0m × 22.4m × 3.0m	2池
反応タンク	内法 84.0m × 5.6m × 6.0m	10池
最終沈殿池	内法 35.0m × 24.0m × 3.0m	3池
	内法 35.0m × 11.2m × 3.0m	4池
塩素混和池	内法 156.0m × 3.0m × 3.0m	1池
放流ポンプ棟	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積2,219.68㎡
吸排気棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 105.00㎡
(汚泥処理施設)		
重力式汚泥濃縮タンク	内径 7.5m×3.0m	3基
加圧浮上式汚泥濃縮タンク	内径 14.0m×4.0m×2.5m	3基
汚泥濃縮棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,632.11㎡
汚泥処理棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上3階	延面積5,734.46㎡
汚泥パイプ輸送棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上3階	延面積 703.35㎡
汚泥搬送棟	鉄骨造 1階建	延面積 170.76㎡
し渣分離機室	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 275.34㎡

主要機器

沈砂掻揚洗浄設備	沈砂掻揚機	3基
	沈砂搬出機	1式
	沈砂洗浄機	1基
	自動除塵機	3基
	し渣搬出機	1式
	し渣洗浄機	1基
	沈砂し渣ホッパ	各1基

曝気用送風機	多段ターボブロー 300mm 95m ³ /min×6,500mmAq×170kW	2台
	〃 400mm 190m ³ /min×6,500mmAq×280kW	2台
汚泥掻寄機	初沈(メイン1基・クロス1基)×2水路/池	3基
	初沈(メイン1基)×2水路/池	2基
	初沈(メイン1基・クロス1基)×4水路/池	2基
	終沈(メイン1基・クロス1基)×2水路/池	2基
	終沈(メイン1基)×2水路/池	2基
	終沈(メイン1基・クロス1基)×4水路/池	3基
反応タンク攪拌機	嫌気槽攪拌機 1.5kW 2台/池×6池	計12台
曝気用エアレーター	水中機械式曝気機 3台/池×4池	計12台
滅菌装置	次亜塩貯留タンク 有効容量15.0m ³ /基	2基
	次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ1.47ℓ/min	3台
放流ポンプ	立軸斜流ポンプ 450mm×26m ³ /min×60kW	2台
	立軸斜流ポンプ 700mm×52m ³ /min×110kW	2台
	立軸斜流ポンプ 900mm×104m ³ /min×215kW	1台
汚泥濃縮設備	フロス掻取機 走行台車型 40m ³ /h	3台
	重力式 直径 7.5m×3.0m	3台
汚泥脱水機	高効率スクーププレス脱水機 360kg・DS/h/台	3台
汚泥乾燥機	間接加熱式 伝熱面積50m ²	3台

電気計装設備

高圧受変電設備	6.6kV高圧受変電設備	1式
	主要変圧器 1,500kVA	2台
自家用発電設備	ディーゼル発電設備 出力1,500kVA×3,300V	1台
	〃 出力1,000kVA×3,300V	1台
監視制御設備	分散型制御装置 現場電気室設置制御装置	1組
	集中型制御装置 中央監視室設置制御装置(LCD)	3組
	主記憶512MB	
	補助記憶装置 (HDD=18.3GB×2 FDD=1.44MB CD-ROM=700MB)	
情報処理装置	遠方監視制御装置 汚水中継ポンプ場TM/TC	1組
	主CPU(2GB)	1式
	補助記憶装置 (HDD=18.3GB×2 FDD=1.44MB CD-ROM=700MB)	1式
	プリンター他周辺装置	1式
エンジニアリング ワークステーション	主記憶 512MB	1式
	補助記憶装置 (HDD=18.3GB×2 FDD=1.44MB CD-ROM=700MB MO=640MB)	1式

(3) 臨海水質管理センター

所在地 金沢市湊3丁目5番地8

操業開始 平成6年10月

主要施設

(共通管理施設)				
管 理 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上2階		延面積2,121.41㎡
電 気 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上2階		延面積1,280.53㎡
(水処理施設)		長さ 幅 有効水深		
沈 砂 池	内法	11.5m × 1.4m × 0.62m		2池
最 初 沈 殿 池	内法	23.1m × 6.1m × 3.0m		4池
	内法	18.43m × 6.1m × 3.0m		4池
反 応 タ ン ク	内法	66.35m × 6.1m × 5.0m		4池
	内法	70.99m × 6.1m × 5.0m		4池
最 終 沈 殿 池	内法	37.2m × 6.1m × 3.0m		2池
	内法	37.2m × 12.2m × 3.0m		3池
塩 素 混 和 池	内法	13.3m × 11.4m × 2.0m		2池
沈 砂 池・ポンプ棟	鉄筋コンクリート造	地下3階/地上3階		延面積3,848.07㎡
ブ ロ ヲ 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上2階		延面積1,442.78㎡
ろ 過 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上1階		延面積 596.75㎡
滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上1階		延面積 405.45㎡
(汚泥処理施設)				
汚 泥 濃 縮 タ ン ク	内法	6.2m × 3.5m		2基
汚 泥 処 理 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上4階		延面積3,577.08㎡
機 械 濃 縮 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上2階		延面積1,709.29㎡
卵 形 消 化 タ ン ク	プレストレストコンクリート造	内径18.5m × 高さ26.8m	3,800m ³	2基
ガ ス タ ン ク	乾式低圧ガスホルダー	内径15.5m × 18.6m	2,500m ³	1基
	乾式低圧ガスホルダー	内径14.5m × 15.3m	1,500m ³	1基
熱 交 換 器 棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上6階		延面積1,478.00㎡
し 渣 処 理 棟	鉄骨造	1階建		延面積 69.62㎡

主要機器

汚 水 ポ ン プ	立軸槽外渦巻斜流ポンプ			
	300mm × 10.0m ³ /min × 55kW			3台
	400mm × 20.0m ³ /min × 110kW			1台
沈 砂 掻 揚 洗 浄 設 備	沈砂掻揚機			2基
	沈砂搬出機			1式
	沈砂洗浄機			1基
	自動除塵機			2基
	し渣搬出機			1式
	し渣洗浄機			1基
	沈砂し渣ホッパ			2基
曝 気 用 送 風 機	単段歯車増速ブロワー			
	250mm 52m ³ /min × 6,000mmAq × 90kW			2台
	300mm 115m ³ /min × 6,200mmAq × 170kW			2台

汚泥掻寄機	初沈(メイン1基)×8池 終沈(メイン1基)×2池 終沈(メイン1基・クロス1基)×3池	計8台 計8台
反応タンク攪拌機	嫌気槽攪拌機 0.75kW 1台/池×2池 嫌気槽攪拌機 1.5kW 4台/池×1池	計6台
曝気用エアレーター	水中機械式曝気機 4台/池×2池	計8台
滅菌装置	次亜塩貯留タンク 有効容量9.6m ³ /基 次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ 1.1250/min	2基 2台
汚泥濃縮設備	重力式濃縮槽汚泥掻寄機	2基
汚泥濃縮機	遠心濃縮機 20m ³ /h ベルト濃縮機 20m ³ /h	2基 1基
加温用熱交換器	スパイラル式 2,200MJ/h	2基
加温用温水器	横形炉筒煙管式 2,500MJ/h	2基
汚泥脱水設備	ベルトプレス脱水機 90kg・DS/m・h×3.0m スクュープレス脱水機 270kg・DS/h " 235kg・DS/h	1台 1台 1台
砂ろ過設備	上向流式砂ろ過器 450m ³ /日・基	6基
精製消化ガス供給設備	吸収塔 消化ガス圧縮機ユニット 100Nm ³ /h 冷凍機ユニット 100Nm ³ /h 2.72RT 熱調器ユニット 100Nm ³ /h	2基 1式 1式 1式

電気計装設備

高圧受変電設備	6.6kV高圧受変電設備	1式
自家用発電設備	ガスタービン発電設備 出力1,000kVA×6,600V	1台
監視制御設備	分散型制御装置 現場電気室設置制御装置 中央監視室設置制御装置(LCD) 汚泥処理棟監視室設置制御装置(LCD)	4組 4組 1組
情報処理装置	遠方監視制御装置 汚水中継ポンプ場TM/TC 主CPU(8GB) 補助記憶装置(RAID1ホットスワップミラー500GB) プリンター他周辺装置	(3組) 1式 1式 1式

(4) 湯涌水質管理ステーション

所在地 金沢市湯涌荒屋町16番地

操業開始 平成13年4月

主要施設

スクリーン棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 29.67m ²
機械棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上1階	延面積 410.36m ²

処理施設

	長さ	幅	有効水深	
オキシテーションテイチ	内法 50.0m ×	4.0m ×	3.0m ~4.0m	1池
最終沈殿池	内法 φ8.5m ×		3.5m	1池
塩素混和池	内法 13m ×	1.0m ×	1.1m	1池
汚泥濃縮槽	内法 φ3.0m ×		4.0m	1槽
汚泥貯留槽	内法 4.0m ×	3.0m ×	4.0m	1槽

主要機器

機 械 設 備	細目スクリーン(自動)		1台
	曝気装置		2式
	接触曝気装置		1式
	終沈汚泥掻寄機		1基
	活性炭吸着塔		1基
電 気 設 備	受変電設備	6,600V×150kVA	1式
	ディーゼル発電設備	出力 80kVA	1式

(5) セツ屋ポンプ場

所在地 金沢市セツ屋町ニ16番地1

操業開始 昭和44年4月

流入区域 広岡1丁目、北安江1丁目等80haの雨水は浅野川へ放流し、犀川・浅野川に囲まれた中央市街地342haの汚水は城北水質管理センターへ中継

主要施設

上 屋 建 築	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積1,125.24㎡
雨 水 沈 砂 池	内法 11.5m×6.0m×2.1m	2池
汚 水 沈 砂 池	内法 11.5m×3.2m×2.1m	4池

主要機器

雨 水 ポ ン プ	立軸斜流ポンプ	1,500mm×330m ³ /min×315kW	1台
	〃	1,000mm×140m ³ /min×145kW	2台
汚 水 ポ ン プ	立軸斜流ポンプ	600mm×42.2m ³ /min×125kW	2台
	〃	500mm×34.8m ³ /min×90kW	3台
機 械 設 備	自動除塵機		7基
	汚水沈砂掻揚機		3基
	雨水揚砂設備		2基
	沈砂及びし渣洗浄設備		各1式
	沈砂及びし渣ホッパ		各1基
電 気 計 装 設 備	高圧受配電設備(3.3kV 城北水質管理センターより送電)		1式
	監視制御装置 (城北水質管理センターの分散型制御装置にて制御)		(1組)

(6) 駅西汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市北安江4丁目10番1号

操業開始 昭和51年5月

流入区域 上諸江処理分区(北安江町、西念町、二口町、長田本町等)77haの汚水を城北水質管理センターへ中継

主要施設

上 屋 建 築	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 9.68㎡
汚 水 沈 砂 池	内法 長さ3.0m×幅2.5m×有効水深0.3m	2池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 200mm×2.9m ³ /min×18.5kW	3台
機械設備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
	活性炭吸着塔	1基
電気設備	低圧受配電設備	1式

(7) 小橋汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市瓢箪町12番29号

操業開始 昭和63年4月

流入区域 城東第2処理分区(宝町、旭町、桜町、材木町、彦三町1丁目等)288haの汚水を浅野ポンプ場へ中継

主要施設

上屋	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 89.32m ²
汚水沈砂ポンプ井	内法 長さ6.8m×幅7.2m×有効水深2.9m	1池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×6.4m ³ /min×18.5kW	3台
機械設備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
	し渣破砕機	1台
	活性炭吸着塔	1基
電気設備計装	低圧受配電設備	1台
	遠方監視装置 TM(城北水質管理センターにて遠方監視)	1組

(8) 乙丸第一汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市乙丸町甲161番地

操業開始 昭和53年11月

流入区域 浅野第2処理分区(小坂町、三池町、春日町、神宮寺町等)106haの汚水を浅野ポンプ場へ中継

主要機器

上屋	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 23.1m ²
汚水沈砂池	内法 長さ3.5m×幅2.0m×有効水深0.3m	2池

主要施設

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 200mm×4.4m ³ /min×7.5kW	3台
機械設備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
	活性炭吸着塔	1基
電気設備	低圧受配電設備	1式

(9) 上諸江汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市駅西新町2丁目15番地1

操業開始 昭和59年4月

流入区域 駅西処理分区(西念町、諸江町、若宮町、北町等)438haの汚水を城北水質管理センターへ中継

主要施設

上 汚水沈砂池	屋 鉄筋コンクリート造 地下2階／地上2階 内法 長さ10.0m×幅1.9m×有効水深1.0m	延面積2,189.87㎡ 2池
------------	---	--------------------

主要機器

汚水ポンプ 機械設備	立軸槽外渦巻斜流ポンプ 350mm×15.3m ³ /min×100kW 自動除塵機 し渣洗浄設備 沈砂搔寄機及び揚砂ポンプ 沈砂洗浄設備 沈砂及びし渣ホッパ 活性炭吸着塔	2台 2基 1式 各2組 1式 各1基 1基
電気設備	高圧受配電設備 6.6kV 変圧器 6.6kV 500kVA ディーゼル発電設備 出力625kVA×6.6kV 遠方監視制御装置TM/TC (城北水質管理センターにて遠方監視)	1式 1台 1台 1組

(10) 横枕汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市横枕町ハ16番地
操業開始 平成元年4月
流入区域 柳橋処理分区(横枕町、小坂町、御所町、山王町1～2丁目等)393haの汚水を城北水質管理センターへ中継

主要施設

上 汚水沈砂池	屋 鉄筋コンクリート造 地下2階／地上2階 内法 長さ7.0m×幅1.2m×有効水深0.4m	延面積1,689.02㎡ 2池
------------	--	--------------------

主要機器

汚水ポンプ 機械設備	立軸槽外渦巻斜流ポンプ 250mm×5.63m ³ /min×45kW " 250mm×6.8m ³ /min×75kW 自動除塵機 し渣洗浄脱水設備 沈砂搔揚機 沈砂洗浄装置 沈砂及びし渣ホッパ 活性炭吸着塔	2台 1台 2基 1式 2基 1式 各1基 1式
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV(2回線受電) 変圧器 6.6kV/400V 200kVA " 6.6kV/200V 100kVA 遠方監視制御装置TM/TC (城北水質管理センターにて遠方監視)	1式 1台 1台 1組

(11) 高島汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市高島3丁目289番地
操業開始 昭和60年4月
流入区域 西部処理区第8分区(高島1丁目、玉鉾2丁目、米丸町、間明1丁目)95haの汚水を西部水質管理センターへ中継

施設

上 汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 2階建 内法 長さ9.0m×幅1.0m×有効水深0.4m	延面積 473.36m ² 1池
------------	---	--------------------------------

主要機器

汚水ポンプ 機械設備	水中汚水ポンプ 250mm×7.0m ³ /min×30kW 自動除塵機 し渣洗浄設備	2台 1基 1式
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV 変圧器 6.6kV 110kVA ディーゼル発電機 出力150kVA×210V 遠方監視装置 TM/TC (西部水質管理センターにて遠方監視)	1式 1台 1台 1組

(12) 粟崎第一汚水中継ポンプ場

所在地 金沢市粟崎町リ54番地
操業開始 平成6年10月
流入区域 臨海処理区、第1分区(粟崎町、粟崎町1～4丁目)151haの汚水を臨海水質管理センターへ中継

施設

上 汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階 内法 長さ8.35m×幅1.0m×有効水深0.4m	延面積 446.92m ² 1池
------------	--	--------------------------------

主要機器

汚水ポンプ 機械設備	水中汚水ポンプ 150mm×2.6m ³ /min×15kW 自動除塵機 し渣脱水設備	3台 1基 1式
電気計装設備	脱臭設備 (10m ³ /min) 低圧受配電設備 ディーゼル発電機 出力100kVA×220V 遠方監視装置 TM/TC (臨海水質管理センターにて遠方監視)	1式 1式 1台 1組

(13) 大浦污水中継ポンプ場

所在地 金沢市東蚊爪町91番地
操業開始 平成9年12月
流入区域 臨海処理区(第3分区一部、第7～12分区)1, 017haの污水を臨海水質管理センターへ中継

施設

上 汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階 内法 長さ9.1m×幅1.65m×有効水深0.95m	延面積 2,322.65㎡ 2池
------------	---	---------------------

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 200mm×5.4m ³ /min×55kW	2台
	” 300mm×9.5m ³ /min×75kW	1台
	” 200mm×5.8m ³ /min×37kW	1台
機械設備	自動除塵機	2基
	沈砂ホッパ	1基
	沈砂洗浄設備	1式
電気計装設備	脱臭設備 (30m ³ /min)	1式
	高圧受配電設備 6.6kV(2回線受電)	1式
	変圧器 6.6kV/400V 300kVA	1台
	6.6kV/400V 200kVA	1台
	6.6kV/200V 150kVA	1台
	遠方監視装置 TM/TC (臨海水質管理センターにて遠方監視)	1組

(14) 木越污水中継ポンプ場

所在地 金沢市みずき3丁目284番地
操業開始 平成13年12月
流入区域 臨海処理区(第8分区一部、第9～12分区)769haの污水を大浦污水中継ポンプ場へ中継

施設

上 汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上1階 内法 長さ6.5m×幅1.2m×有効水深0.5m	延面積 780.11㎡ 2池
------------	---	-------------------

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×7.8m ³ /min×30kW	2台
	” 250mm×5.3m ³ /min×15kW	1台
機械設備	自動除塵機	2基
	脱臭設備 (12m ³ /min)	1式
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV(2回線受電)	1式
	変圧器 6.6kV 200kVA	1台
	遠方監視装置 TM/TC	1組
	(臨海水質管理センターにて遠方監視)	

(15) 高島雨水ポンプ場

所在地 金沢市高島3丁目290番地

操業開始 平成13年8月

施設

上	屋	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建	延面積 454.66㎡
---	---	-------------------	-------------

主要機器

雨水ポンプ	先行待機形立軸軸流ポンプ 900mm×109.2m ³ /min×90kW	2台
機械設備	自動除塵機	2基
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 300kVA	1台
	ガスタービン発電設備 出力 300kVA×420V	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(16) 戸板雨水ポンプ場

所在地 金沢市示野中町2丁目77番地

操業開始 平成13年8月

施設

上	屋	鉄骨造2階建	延面積 301.76㎡
---	---	--------	-------------

主要機器

雨水ポンプ	先行待機形立軸軸流ポンプ800mm×71.1m ³ /min×45kW	2台
機械設備	自動除塵機	2基
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 200kVA	1台
	ガスタービン発電設備 出力225kVA×210V	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(17) 古府雨水ポンプ場

所在地 金沢市古府町2丁目4番地

操業開始 平成16年4月

施設

上	屋	鉄筋コンクリート造2階建	延面積 1,619.64㎡
---	---	--------------	---------------

主要機器

雨水ポンプ	先行待機形立軸斜流ポンプ900mm×109.8m ³ /min×368kW	3台
機械設備	自動除塵機	2基
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 200kVA	1台
	ディーゼル発電設備 出力150kVA	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(18) 保古雨水ポンプ場

所在地 金沢市保古3丁目183番地1

操業開始 平成16年4月

施設

上	屋	鉄筋コンクリート造2階建	延面積 1,390.72㎡
---	---	--------------	---------------

主要機器

雨水ポンプ	先行待機形立軸斜流ポンプ1,000mm×146.4m ³ /min×537kW	3台
機械設備	自動除塵機	3基
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 300kVA	1台
	ディーゼル発電設備 出力200kVA	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(19) 湊雨水ポンプ場

所在地 金沢市湊1丁目18番地4

操業開始 平成16年4月

施設

上	屋	鉄骨造2階建	延面積 722.30㎡
---	---	--------	-------------

主要機器

雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ1,200mm×159.0m ³ /min×220kW	2台
機械設備	自動除塵機	1基
電気計装設備	低圧受配電設備 200V 47kW	1式
	ディーゼル発電設備 出力62.5kVA	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

5 事業の概要

(1) 事業実績

項目		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行政区域内人口(住基台帳人口) A		人	452,844	451,817	450,592	449,864
排水区域内人口(") B		人	-	446,870	445,433	444,525
	公共 B'	"	443,453	442,523	441,401	441,428
	農村	"	-	4,347	4,032	3,097
市街地面積		ha	6,318	6,318	6,318	6,318
排水区域面積	公共	"	8,379	8,394	8,443	8,908
	農村	"	-	259	259	215
普及率	公共のみ B'/A	%	97.9	97.9	98.0	98.1
	農村含む B/A	"	-	98.9	98.9	98.8
水洗化戸数(公共)		戸	143,205	144,924	146,569	147,855
水洗化率(公共)		%	96.9	97.2	97.4	97.6
処理能力	晴天時一日最大処理量(公共)	m ³	291,950	289,850	289,850	289,850
	雨天時一日最大処理量(公共)	"	404,950	402,850	402,850	402,850
管渠の延長	公共	m	2,263,520	2,266,105	2,272,792	2,286,638
	農村	"	-	72,865	72,865	61,295
年間総処理水量(公共)		m ³	70,028,425	66,945,219	64,723,839	68,243,362
年間汚水処理水量(公共) C		"	62,431,425	61,744,495	60,870,924	61,363,070
年間雨水処理水量(公共)		"	7,597,000	5,200,724	3,852,915	6,880,292
一日最大処理量(公共)		"	321,287	298,924	277,403	296,168
一日平均処理量(公共)		"	191,859	183,411	176,842	186,968
年間有収汚水量	公共 D	"	52,691,163	51,682,053	51,376,484	51,557,235
	水道汚水量	"	47,047,310	46,215,328	46,020,849	46,934,242
	井戸汚水量	"	5,383,948	5,206,604	5,095,100	4,397,074
	公衆浴場汚水量	"	259,905	260,121	260,535	225,919
年間有収率(公共) D/C		%	84.4	83.7	84.4	84.0
総収益		千円	16,921,860	16,911,564	16,777,349	15,663,272
総費用		"	15,681,885	15,808,993	15,649,587	15,336,882

(2) 下水処理水量

年度	処理場	城北	西部	臨海	小規模	農集	湯涌	犀川左岸	合計
		30	年間総処理水量	32,558,672	16,629,525	10,728,564	10,808	480,605	96,729
	汚水処理水量	28,675,130	15,824,210	10,482,435	10,622	445,263	89,060	6,673,660	62,200,380
	雨水処理水量	3,883,542	805,315	246,129	186	35,342	7,669	258,069	5,236,252
元	年間総処理水量	31,639,375	15,703,896	10,716,735	10,304	397,390	95,026	6,568,807	65,131,533
	汚水処理水量	28,741,248	15,126,780	10,537,506	10,138	373,389	89,304	6,376,086	61,254,451
	雨水処理水量	2,898,127	577,116	179,229	166	24,001	5,722	192,721	3,877,082
2	年間総処理水量	33,049,933	16,705,403	11,096,421	10,972	356,661	94,796	7,296,809	68,610,995
	汚水処理水量	27,997,690	15,647,185	10,777,355	10,768	319,521	85,045	6,855,795	61,693,359
	雨水処理水量	5,052,243	1,058,218	319,066	204	37,140	9,751	441,014	6,917,636

(3) 終末処理場の水質検査結果

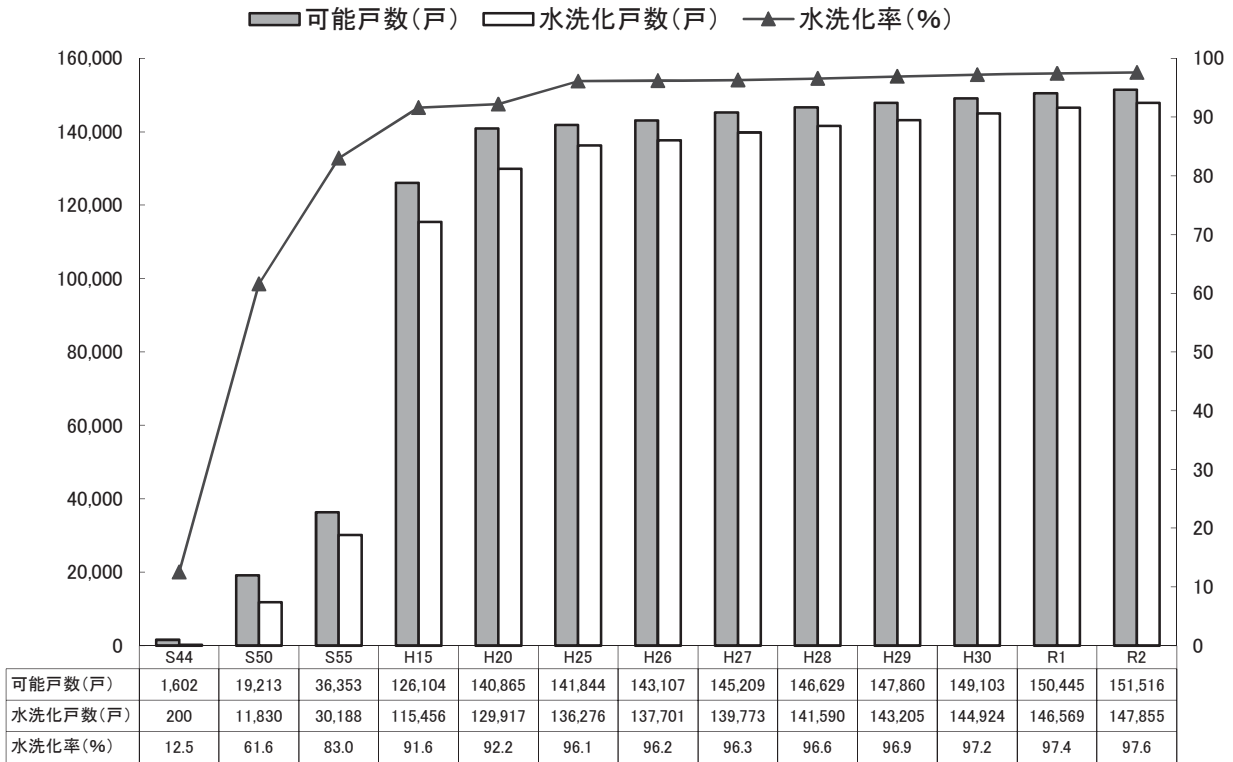
令和2年度実績

試験項目	施設名	城北第1水処理施設		城北第2水処理施設		西部水処理施設		臨海水処理施設	
		流入水	放流水	流入水	放流水	流入水	放流水	流入水	放流水
気温 (°C)		16.5	16.5	16.5	16.5	18.2	18.2	15.3	15.3
水温 (°C)		19.3	19.7	19.7	19.8	20.0	20.8	21.1	21.9
透視度 (cm)		8	94	8	87	5	79	6	97
PH		7.5	7.2	7.3	7.3	7.6	7.0	7.4	7.3
BOD (mg/l)		110	2.4	94	4.9	170	4.8	160	3.4
SS (mg/l)		130	2.2	91	2.8	200	4.9	140	2.2
COD (mg/l)		93	8.7	77	11	150	12	140	12
大腸菌群数 (個/ml)		86×10 ³	0	70×10 ³	0	110×10 ³	20	110×10 ³	0
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)		10	<0.5	8.8	<0.5	15	<0.5	13	<0.5
全窒素 (mg/l)		52	20	33	19	41	18	42	27
全リン (mg/l)		8.3	1.0	3.3	0.63	4.7	0.85	5.8	0.70
アンモニア性窒素 (mg/l)		34	17	21	16	26	15	29	24
フェノール類 (mg/l)		0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	<0.1	0.3	<0.1
銅 (mg/l)		0.02	<0.01	0.02	<0.01	0.02	0.01	0.01	<0.01
亜鉛 (mg/l)		0.07	0.03	0.04	0.03	0.07	0.03	0.05	0.03
溶解性鉄 (mg/l)		0.29	0.05	0.24	0.06	0.15	0.04	0.54	0.06
溶解性マンガン (mg/l)		0.04	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.05	0.02
全クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム (mg/l)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機リン (mg/l)		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素 (mg/l)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
総水銀 (mg/l)		0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン (mg/l)		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ (mg/l)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン (mg/l)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン (mg/l)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ほう素 (mg/l)		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
ふっ素 (mg/l)		<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物、及び硝酸化合物 (mg/l)		15	7.5	8.6	6.7	11	6	11	9.3

6 下水道の普及促進

(1) 水洗化の状況

公共下水道の供用が開始された区域では、区域内の土地の下水を公共下水道に流入させるための施設の設置や、汲み取り便所を水洗便所に改造することが下水道法によって義務付けられています。



(2) 水洗化普及促進対策

金沢市では、未接続家屋に対する水洗化の調査指導を行っているほか、水洗便所への改造資金の融資制度などにより水洗化の普及促進を図っています。

1. 普及促進指導対策

未接続家屋に対する指導

処理区域内の未接続家屋に対して、職員が戸別訪問により実態を調査し、それをもとに水洗化への勧奨・指導を行っています。

2. 普及促進支援対策

[水洗便所改造資金融資制度]

し尿を公共下水道又は農村下水道に排除するために便所を改造する場合、その工事資金を融資する制度
元金均等月賦償還(48ヶ月以内)

年度	昭和 44	45	46	47	48	49～51	52	53～63	平成 元～5	6	7～
融資限度額 (1戸あたり)	6万円		8万円	10万円	12万円	20万円	25万円	30万円	40万円	50万円	70万円
償還月数	20月						25月	30月		36月	48月
貸付利息	年 5分5厘	無利子									

処理区別貸付集計 (令和元年度～2年度) (金額:千円)

処理区名	年度	令和元年度			令和2年度		
		汲み取り	浄化槽	合計	汲み取り	浄化槽	合計
浅野処理区	件数	0	0	0	0	1	1
	金額	0	0	0	0	700	700
西部処理区	件数	0	1	1	0	0	0
	金額	0	250	250	0	0	0
臨海処理区	件数	0	5	5	0	0	0
	金額	0	2,250	2,250	0	0	0
犀川左岸処理区	件数	0	1	1	0	1	1
	金額	0	250	250	0	700	700
湯涌特環区	件数	0	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0	0
農村下水道	件数	0	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0	0
合計	件数	0	7	7	0	2	2
	金額	0	2,750	2,750	0	1,400	1,400

[私道道路における公共下水道設置基準の緩和]

ア. 私道に面した土地または家屋の所有者の2人以上から申請があり、汚水柵を2箇所以上設置する場合

イ. 道路に供している土地所有者の申請があった場合

上記に掲げる2項目を満足した場合、市において設置する。

(3) 年度別水洗化状況（公共下水道）

年度	水洗化可能戸数		水洗化戸数		水洗化率	水洗便所改造資金			私道共同排水設備設置費補助	
	単年度	累計	単年度	累計		融資戸数	戸数累計	融資額	助成件数	補助金
	戸	戸	戸	戸	%	戸	戸	千円	件	千円
昭和										
44	1,602	1,602	200	200	12.5	16	16	960		
50	3,902	19,213	3,520	11,830	61.6	1,162	3,814	223,870		
55	5,442	36,353	3,795	30,188	83.0	1,797	11,129	496,800		
60	1,953	54,979	3,277	50,809	92.4	1,020	18,106	273,820		
平成元	3,494	71,625	3,588	66,212	92.4	829	21,977	252,710		
2	1,372	72,997	3,551	69,763	95.6	676	22,653	217,740		
3	3,309	76,306	2,428	72,191	94.6	780	23,433	257,070	4	879
4	2,299	78,605	2,655	74,846	95.2	624	24,057	202,490	4	876
5	2,355	80,960	2,613	77,459	95.7	419	24,476	137,650	6	1,697
6	9,259	90,219	2,055	79,514	88.1	518	24,994	207,610	7	2,336
7	3,707	93,926	4,727	84,241	89.7	1,133	26,127	530,590	14	5,457
8	3,318	97,244	3,862	88,103	90.6	837	26,964	399,810	10	3,183
9	4,753	101,997	4,888	92,991	91.2	572	27,536	281,150	7	2,518
10	3,151	105,148	2,861	95,852	91.2	490	28,026	238,660	3	914
11	4,828	109,976	3,616	99,468	90.4	317	28,343	144,640		
12	4,793	114,769	4,696	104,164	90.8	402	28,745	189,510		
13	4,198	118,967	4,253	108,417	91.1	317	29,062	146,160		
14	4,222	123,189	3,665	112,082	90.1	253	29,315	108,830		
15	2,915	126,104	3,374	115,456	91.6	138	29,453	58,480		
16	3,448	129,552	3,219	118,675	91.6	150	29,603	64,150		
17	2,923	132,475	2,900	121,575	91.8	80	29,683	32,910		
18	3,726	136,201	2,978	124,553	91.4	74	29,757	33,510		
19	2,844	139,045	2,778	127,331	91.6	96	29,853	37,490		
20	1,820	140,865	2,586	129,917	92.2	70	29,923	29,460		
21	1,977	142,842	2,244	132,161	92.5	65	29,988	26,180		
22	2,017	144,859	2,340	134,501	92.8	60	30,048	22,580		
23	1,768	146,627	2,064	136,565	93.1	35	30,083	15,410		
24	2,106	148,733	2,217	138,782	93.3	31	30,114	11,370		
25	△ 6,889	141,844	△ 2,506	136,276	96.1	22	30,136	9,086		
26	1,263	143,107	1,425	137,701	96.2	21	30,157	8,610		
27	2,102	145,209	2,072	139,773	96.3	20	30,177	8,940		
28	1,420	146,629	1,817	141,590	96.6	20	30,197	9,260		
29	1,231	147,860	1,615	143,205	96.9	7	30,204	4,940		
30	1,243	149,103	1,719	144,924	97.2	5	30,209	2,450		
令和元	1,342	150,445	1,645	146,569	97.4	7	30,216	2,750		
2	1,071	151,516	1,286	147,855	97.6	2	30,218	1,400		

※平成25年度に実施した詳細調査の結果、水洗化可能戸数及び水洗化戸数が減少した。

7 料金制度等

(1) 下水道事業受益者負担金

受益者負担金は、特定の事業により著しい利益を受ける者に対して、その利益を受ける限度において事業費の一部を負担させようとするもので、金沢市では、昭和43年3月旧都市計画法第6条の規定に基づく省令の制定により、受益者負担金制度を採用し、昭和47年12月に条例化し、下水道事業の推進を図っています。

〈下水道受益者負担金〉

負担区	地 積	対 象 事 業 費	負担率	単 位 負 担 金 額	公 告 年 月 日
1	3,360,000㎡	2,695,518,000円	1/5	160円/㎡	S43. 5. 1
2	11,900,000㎡	11,586,883,000円	1/5	194円/㎡	S48. 2. 21
3	13,360,000㎡	20,010,031,000円	1/5	299円/㎡	S52. 3. 11
4	12,450,000㎡	20,483,040,000円	1/5	329円/㎡	S59. 2. 1
5	14,960,000㎡	28,338,000,000円	1/5	378円/㎡	S63. 2. 22
6	13,880,000㎡	119,489,000,000円	5%	430円/㎡	H 7. 3. 31
7	8,404,000㎡	76,407,000,000円	5%	454円/㎡	H11. 3. 31

(2) 下水道使用料

下水道使用料は、下水道の利用者から使用量に応じて徴収し施設の維持管理費等にあてています。金沢市の使用料は、基本使用料と従量使用料からなり、累進使用料体系となっています。

〈下水道使用料の額（1m³当たり）〉

(単位:円)

使用水量	S44.4 ～ 52.4	52.5 ～ 56.6	56.7 ～ 57.3	57.4 ～ 58.3	58.4 ～ 60.5	60.6 ～ 62.5	62.6 ～ H1.5	H1.6 ～ 4.5	4.6 ～ 6.5	6.6 ～ 8.3	8.4 ～ 10.3	10.4 ～ 21.3	21.4 ～
1～30 m ³	12	18	33	38	49	55	64	71	76	89	基本使用量 0～10m ³		基本使用料 900
											1,000	1,090	1～10m ³ 27
											以下超過量 11～30m ³		11～30m ³ 124
											104	114	124
31～50	12	19	34	40	52	57	66	73	78	91	107	117	129
51～100	12	20	36	42	55	59	68	75	80	93	109	120	135
101～200	12	21	38	44	57	61	70	77	82	95	112	124	140
201～300	12	23	41	48	62	66	75	82	87	100	118	130	146
301～500	12	25	45	52	68	72	81	88	92	105	124	136	154
501～1,000	12	27	49	57	74	76	85	92	97	110	130	143	162
1,001m ³ ～	12	29	53	62	80	81	90	97	102	115	136	150	171
公衆浴場 1m ³ ～	6	9	17	19	19	19	22	22	22	22	基本使用量0～100m ³		2,000
											以下超過量		25

(3) 使用料改定の経緯

区 分	S44.4 ～ 52.4	52.5 ～ 56.6	56.7 ～ 57.3	57.4 ～ 58.3	58.4 ～ 60.5	60.6 ～ 62.5	62.6 ～ H1.5	H1.6 ～ 4.5	4.6 ～ 6.5	6.6 ～ 8.3	8.4 ～ 10.3	10.4 ～ 21.3	21.4 ～
平均改定率 %	-	91.00	81.00	16.60	29.80	6.70	14.69	10.10	6.60	15.98	18.37	9.62	8.28
一般家庭平均 月20m ³ の下水道使用料 円	240	360	660	760	980	1,100	1,280	1,420	1,520	1,780	2,040	2,230	2,410

(4) 下水道使用料の年度別推移

項目 年度	上 水 道			井 戸 水		
	延 件 数	使 用 水 量	使 用 料	延 件 数	使 用 水 量	使 用 料
昭和44	0	697,709	8,372,508	0	111,555	1,338,660
45	0	1,250,066	15,000,782	0	148,833	1,785,996
46	0	2,112,373	25,348,476	0	259,492	3,113,904
47	89,894	4,449,361	53,392,332	1,404	716,537	8,598,444
48	125,195	6,551,175	78,614,107	2,172	1,589,000	19,068,000
49	152,435	7,727,457	92,729,543	2,379	4,593,614	55,123,368
50	183,754	9,735,971	116,831,662	3,242	5,069,806	60,837,672
51	221,477	11,032,043	132,384,520	3,515	7,697,310	92,367,720
52	270,607	12,570,204	251,182,014	4,093	8,070,593	212,165,508
53	329,928	13,892,793	286,286,477	4,741	7,922,288	218,008,208
54	377,512	15,210,940	310,050,129	5,143	7,690,627	212,314,188
55	426,558	16,385,728	331,541,736	5,491	6,670,905	182,285,641
56	486,422	17,955,756	561,224,543	6,031	6,270,026	270,707,525
57	548,270	19,201,096	794,951,531	6,769	6,244,462	353,899,993
58	624,756	21,975,006	1,162,876,738	8,629	6,367,587	461,093,694
59	691,858	24,143,896	1,290,972,081	8,499	6,255,911	460,895,103
60	741,430	25,539,377	1,466,657,959	9,454	5,750,953	428,755,093
61	784,198	25,959,810	1,512,265,400	10,455	5,205,329	387,334,685
62	853,548	27,963,768	1,830,079,847	11,221	5,197,801	421,887,421
63	929,348	29,513,461	1,978,746,255	11,881	5,265,181	438,628,566
平成元	1,004,256	31,581,590	2,288,400,875	12,323	5,487,291	487,376,538
2	1,061,900	33,885,034	2,518,865,922	12,916	5,721,732	501,575,469
3	1,109,820	34,887,115	2,586,297,792	14,920	5,934,413	520,494,778
4	1,129,360	35,646,552	2,756,304,473	16,054	5,905,759	552,407,034
5	1,174,720	35,959,682	2,824,491,704	16,606	5,795,356	546,282,277
6	1,206,950	37,284,043	3,284,828,874	16,736	5,744,949	599,791,704
7	1,257,874	37,489,040	3,431,329,822	16,548	5,562,471	593,199,171
8	1,384,068	39,906,936	4,382,426,387	17,318	5,514,123	691,538,435
9	1,495,016	41,435,545	4,628,749,424	18,658	5,598,718	707,749,260
10	1,572,150	42,413,868	5,440,870,445	18,535	5,648,782	798,584,070
11	1,619,415	43,008,121	5,576,815,707	18,744	5,741,141	803,220,474
12	1,690,422	44,301,463	5,667,885,557	18,922	5,738,774	852,768,375
13	1,748,404	44,699,958	5,756,465,684	19,304	5,843,850	857,165,868
14	1,800,128	44,968,767	5,803,210,076	19,323	5,846,790	856,479,981
15	1,861,220	45,531,351	5,857,207,401	18,876	5,842,371	859,534,162
16	1,904,958	45,941,532	5,912,443,222	18,519	5,785,685	852,497,706
17	1,949,288	46,371,580	5,974,097,140	18,537	6,041,366	877,902,556
18	1,993,142	46,044,449	5,926,306,348	18,431	5,922,273	874,030,337
19	2,030,158	46,441,850	5,979,114,731	18,064	5,966,342	881,428,259
20	2,065,780	46,468,645	5,991,798,828	17,576	5,833,525	861,991,001
21	2,091,560	46,550,039	6,418,557,954	17,323	5,725,145	948,312,177
22	2,231,121	47,357,287	6,567,487,736	25,379	5,760,102	956,800,122
23	2,253,530	46,866,747	6,481,800,244	25,171	5,808,289	974,339,379
24	2,278,178	46,585,683	6,466,910,169	24,796	5,608,830	940,160,116
25	2,302,948	46,229,564	6,425,909,604	24,617	5,395,065	903,643,666
26	2,329,452	45,940,841	6,555,512,802	24,186	5,355,471	922,860,343
27	2,364,703	46,429,193	6,665,230,370	22,844	5,568,299	963,416,231
28	2,392,167	46,570,743	6,692,483,710	21,882	5,361,009	926,380,885
29	2,418,497	47,047,310	6,765,887,512	21,646	5,383,948	930,404,734
30	2,457,168 (12,741)	46,513,651 (293,153)	6,692,493,274 (40,652,534)	26,675 (5,324)	5,322,712 (116,108)	916,250,148 (16,434,617)
令和元	2,478,049 (12,796)	46,242,019 (289,151)	6,732,741,276 (40,969,228)	25,738 (5,247)	5,201,794 (106,694)	901,778,257 (15,332,447)
2	2,496,315 (8,927)	47,033,006 (207,616)	6,049,405,655 (25,321,341)	24,488 (4,813)	4,504,392 (107,318)	777,527,562 (14,351,279)

※平成22年度以降の延件数は抽出条件を変更

※平成30年度から農村下水道分を合算。下段は農村下水道分(内数)。

(単位 件:m³:円 税込)

公 衆 浴 場			合 計		
延 件 数	使 用 水 量	使 用 料	延 件 数	使 用 水 量	使 用 料
0	24,854	149,124	0	834,118	9,860,292
0	36,800	220,800	0	1,435,699	17,007,578
0	52,950	317,700	0	2,424,815	28,780,080
174	92,801	556,806	91,472	5,258,699	62,547,582
219	113,600	681,600	127,586	8,253,775	98,363,707
251	129,300	775,800	155,065	12,450,371	148,628,711
290	148,600	891,600	187,286	14,954,377	178,560,934
330	301,430	1,808,580	225,322	19,030,783	226,560,820
373	351,697	3,075,332	275,073	20,992,494	466,422,854
468	411,428	3,702,852	335,137	22,226,509	507,997,537
483	429,588	3,866,292	383,138	23,331,155	526,230,609
523	415,512	3,739,608	432,572	23,472,145	517,566,985
552	418,452	6,014,044	493,005	24,644,234	837,946,112
590	456,621	8,598,509	555,629	25,902,179	1,157,450,033
658	502,144	9,536,973	634,043	28,844,737	1,633,507,405
726	562,116	10,680,204	701,083	30,961,923	1,762,547,388
778	556,310	10,569,890	751,662	31,846,640	1,905,982,942
769	553,055	10,508,045	795,422	31,718,194	1,910,108,130
768	551,809	11,721,247	865,537	33,713,378	2,263,688,515
755	526,797	11,589,534	941,984	35,305,439	2,428,964,355
772	541,933	11,922,526	1,017,351	37,610,814	2,787,699,939
784	556,012	11,865,296	1,075,600	40,162,778	3,032,306,687
799	582,657	12,445,099	1,125,539	41,404,185	3,119,237,669
797	543,234	11,951,148	1,146,211	42,095,545	3,320,662,655
760	520,227	11,444,994	1,192,086	42,275,265	3,382,218,975
714	533,992	11,747,824	1,224,400	43,562,984	3,896,368,402
724	531,176	12,304,642	1,275,146	43,582,687	4,036,833,635
738	531,961	13,018,342	1,402,124	45,953,020	5,086,983,164
733	491,857	12,162,741	1,514,407	47,526,120	5,348,661,425
807	475,794	12,732,738	1,591,492	48,538,444	6,252,187,253
821	486,890	12,396,650	1,638,980	49,236,152	6,392,432,831
815	460,493	14,977,296	1,710,159	50,500,730	6,535,631,228
813	503,805	13,576,017	1,768,521	51,047,613	6,627,207,569
631	527,158	14,048,687	1,820,082	51,342,715	6,673,738,744
581	536,807	14,238,775	1,880,677	51,910,529	6,730,980,338
564	548,059	14,537,845	1,924,041	52,275,276	6,779,478,773
553	568,608	14,408,471	1,968,378	52,981,554	6,866,408,167
525	551,535	14,609,588	2,012,098	52,518,257	6,814,946,273
497	469,737	11,844,225	2,048,719	52,877,929	6,872,387,215
441	400,495	10,588,920	2,083,797	52,702,665	6,864,378,749
415	353,078	9,345,496	2,109,298	52,628,262	7,376,215,627
488	305,993	7,970,466	2,256,988	53,423,382	7,532,258,324
462	296,582	7,743,225	2,279,163	52,971,618	7,463,882,848
449	289,747	7,578,113	2,303,423	52,484,260	7,414,648,398
443	294,245	7,678,650	2,328,008	51,918,874	7,337,231,920
454	285,452	7,678,746	2,354,092	51,581,764	7,486,051,891
401	282,116	7,488,088	2,387,948	52,279,608	7,636,134,689
349	270,067	7,187,319	2,414,398	52,201,819	7,626,051,914
348	259,905	6,997,397	2,440,491	52,691,163	7,703,289,643
342	260,121	6,962,706	2,484,185	52,096,484	7,615,706,128
(-)	(-)	(-)	(18,065)	(409,261)	(57,087,151)
339	261,771	7,055,352	2,504,126	51,705,584	7,641,574,885
(-)	(-)	(-)	(18,043)	(395,845)	(56,301,675)
324	225,919	5,957,985	2,521,127	51,763,317	6,832,891,202
(-)	(-)	(-)	(13,740)	(314,934)	(39,672,620)

(5) 下水道使用料収納体系別状況

区分 年月	調		定		合		計		納		付		制		口		座		振		替	
	件数	金額	1件あたり	金額	金額	1件あたり	件数	比率	金額	比率	金額	比率	件数	比率	金額	比率	件数	比率	金額	比率	金額	比率
平成29年度	1,173,071	7,703,289,643	6,567	7,703,289,643	6,567	247,357	21.09	1,447,974,340	78.91	1,447,974,340	925,714	78.91	6,255,315,303									
30年度	1,194,796	7,615,706,128	6,374	7,615,706,128	6,374	255,862	21.41	1,411,585,888	78.59	1,411,585,888	938,934	78.59	6,204,120,240									
令和元年度	1,207,795	7,641,574,885	6,327	7,641,574,885	6,327	260,682	21.58	1,389,337,889	78.42	1,389,337,889	947,113	78.42	6,252,236,996									
2年度	1,200,168	6,832,891,202	5,693	6,832,891,202	5,693	252,052	21.00	1,212,419,020	79.00	1,212,419,020	948,116	79.00	5,620,472,182									
(対前年増減)	(△ 7,627)	(△ 808,683,683)	(△ 634)	(△ 808,683,683)	(△ 634)	(△ 8,630)	(△ 0.58)	(△ 176,918,869)	(0.58)	(△ 176,918,869)	(1,003)	(0.58)	(△ 631,764,814)									
2. 4	99,431	608,850,838	6,123	608,850,838	6,123	22,853	22.98	109,833,692	77.02	109,833,692	76,578	77.02	499,017,146									
5	103,342	621,700,485	6,016	621,700,485	6,016	21,973	21.26	109,946,775	78.74	109,946,775	81,369	78.74	511,753,710									
6	98,710	609,986,464	6,180	609,986,464	6,180	21,539	21.82	109,802,018	78.18	109,802,018	77,171	78.18	500,184,446									
7	103,552	646,746,920	6,246	646,746,920	6,246	21,539	20.80	115,618,706	79.20	115,618,706	82,013	79.20	531,128,214									
8	94,834	415,334,686	4,380	415,334,686	4,380	19,587	20.65	67,029,962	79.35	67,029,962	75,247	79.35	348,304,724									
9	99,259	456,170,952	4,596	456,170,952	4,596	19,575	19.72	74,851,303	80.28	74,851,303	79,684	80.28	381,319,649									
10	94,991	422,367,392	4,446	422,367,392	4,446	19,585	20.62	71,978,379	79.38	71,978,379	75,406	79.38	350,389,013									
11	99,193	447,291,027	4,509	447,291,027	4,509	19,428	19.59	76,287,002	80.41	76,287,002	79,765	80.41	371,004,025									
12	98,556	641,808,091	6,512	641,808,091	6,512	20,842	21.15	119,570,610	78.85	119,570,610	77,714	78.85	522,237,481									
3. 1	103,373	667,443,592	6,457	667,443,592	6,457	20,981	20.30	118,758,512	79.70	118,758,512	82,392	79.70	548,685,080									
2	98,789	656,722,822	6,648	656,722,822	6,648	21,029	21.29	122,699,662	78.71	122,699,662	77,760	78.71	534,023,160									
3	106,138	638,467,933	6,015	638,467,933	6,015	23,121	21.78	116,042,399	78.22	116,042,399	83,017	78.22	522,425,534									

※平成30年度から、農村下水道分を合算。

※新型コロナウイルス感染症に係る支援策として、令和2年8月調定分から令和2年11月調定分まで水道・下水道基本料金を減免

(6) 下水道使用料収入状況（現年度収入）

区分 年月	調 定 合 計		收 入 合 計		收 入 率		未 收 金	
	件 数	金 額 円	件 数	金 額 円	件 数 %	金 額 %	件 数	金 額 円
2. 4	99,431	608,850,838	99,307	608,185,277	99.88	99.89	124	665,561
5	103,342	621,700,485	103,215	621,175,611	99.88	99.92	127	524,874
6	98,710	609,986,464	98,586	609,465,873	99.87	99.91	124	520,591
7	103,552	646,746,920	103,415	646,154,428	99.87	99.91	137	592,492
8	94,834	415,334,686	94,728	414,955,127	99.89	99.91	106	379,559
9	99,259	456,170,952	99,150	455,858,775	99.89	99.93	109	312,177
10	94,991	422,367,392	94,849	421,858,375	99.85	99.88	142	509,017
11	99,193	447,291,027	99,027	446,785,568	99.83	99.89	166	505,459
12	98,556	641,808,091	97,905	638,826,205	99.34	99.54	651	2,981,886
3. 1	103,373	667,443,592	101,526	659,133,810	98.21	98.75	1,847	8,309,782
2	98,789	656,722,822	94,010	630,930,926	95.16	96.07	4,779	25,791,896
3	106,138	638,467,933	48,987	316,262,807	46.15	49.53	57,151	322,205,126
合 計	1,200,168	6,832,891,202	1,134,705	6,469,592,782	94.55	94.68	65,463	363,298,420

※平成30年度から、農村下水道分を合算。

※収入状況は、令和3年3月31日現在の数値を示す。

8 財務の状況

(1) 財務状況の推移

ア 収益的収入及び支出(消費税抜き)

(単位:千円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収 益 的 収 入 支	事業収益(A)	16,921,860	16,911,564	16,777,349	15,663,272
	営業収益	10,006,067	9,851,123	9,860,642	8,743,666
	(下水道使用料)	(7,133,179)	(7,052,090)	(7,031,023)	(6,212,170)
	営業外収益	6,915,793	7,060,211	6,916,707	6,718,775
	その他	—	230	—	200,831
	事業費用(B)	15,681,885	15,808,993	15,649,587	15,336,882
	人件費	484,232	422,229	426,536	499,747
	支払利息	2,568,013	2,407,962	2,175,068	1,957,025
	減価償却費	9,666,827	9,775,078	9,716,528	9,595,659
	動力費	189,931	230,899	223,651	211,611
	修繕費	649,993	643,931	555,024	594,591
	薬品費	44,479	48,596	50,331	50,069
	委託料	1,367,872	1,450,621	1,492,837	1,452,037
	その他	710,538	829,677	1,009,612	976,143
	差引(A) - (B)	1,239,975	1,102,571	1,127,762	326,390

(注)人件費には、児童手当を含む。

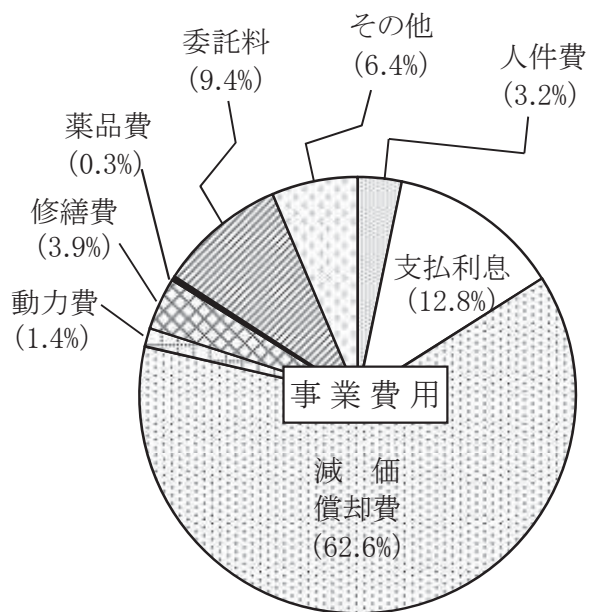
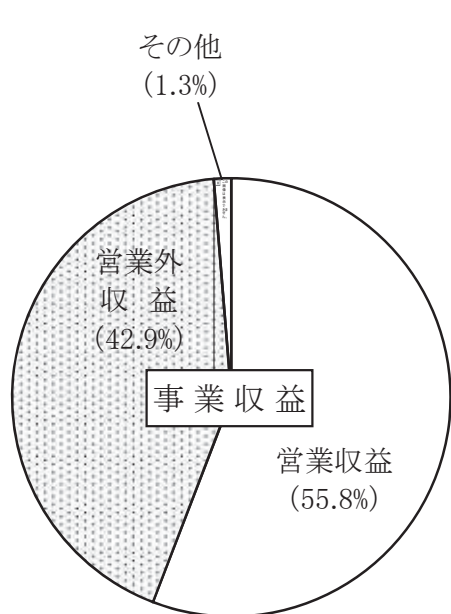
イ 資本的収入及び支出(消費税込み)

(単位:千円)

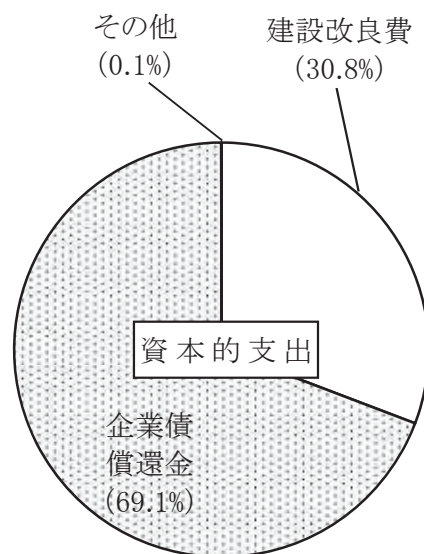
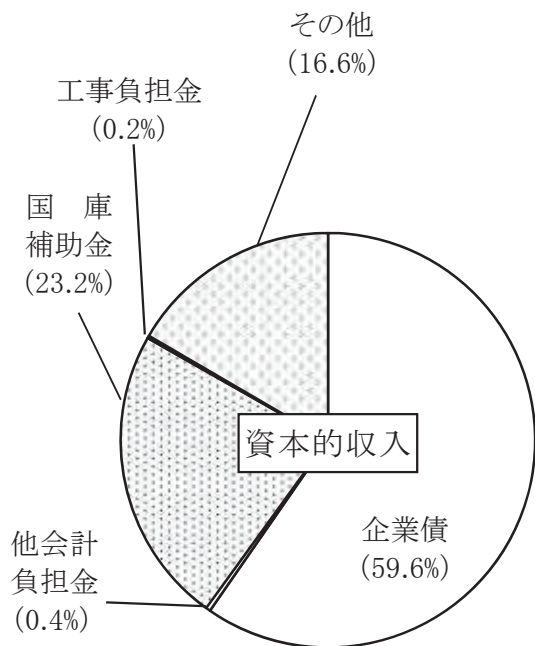
区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資 本 的 収 入 支	資本的収入(C)	7,174,220	7,396,373	7,471,260	6,960,337
	企業債	4,575,000	4,555,800	4,652,700	4,150,700
	他会計負担金	16,287	23,041	23,066	25,586
	国庫補助金	1,769,546	1,699,087	1,556,990	1,616,156
	工事負担金	32,389	67,735	56,563	13,342
	その他	780,998	1,050,710	1,181,941	1,154,553
	資本的支出(D)	13,905,365	14,159,227	13,953,554	14,006,620
	建設改良費	4,205,275	4,247,228	4,411,289	4,311,223
	企業債償還金	9,695,150	9,909,549	9,539,515	9,693,997
	その他	4,940	2,450	2,750	1,400
	差引(C) - (D)	△ 6,731,145	△ 6,762,854	△ 6,482,294	△ 7,046,283

令和2年度下水道事業財務状況構成図

収益的収支



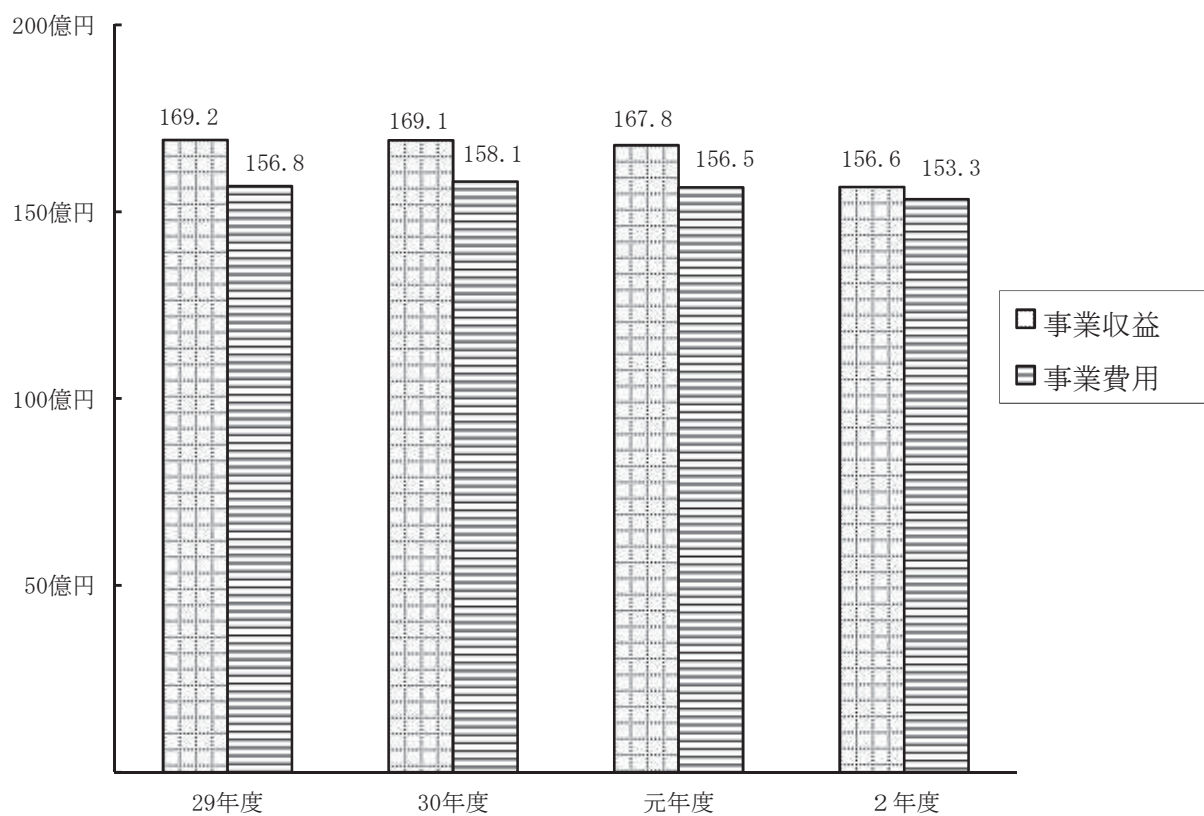
資本的収支



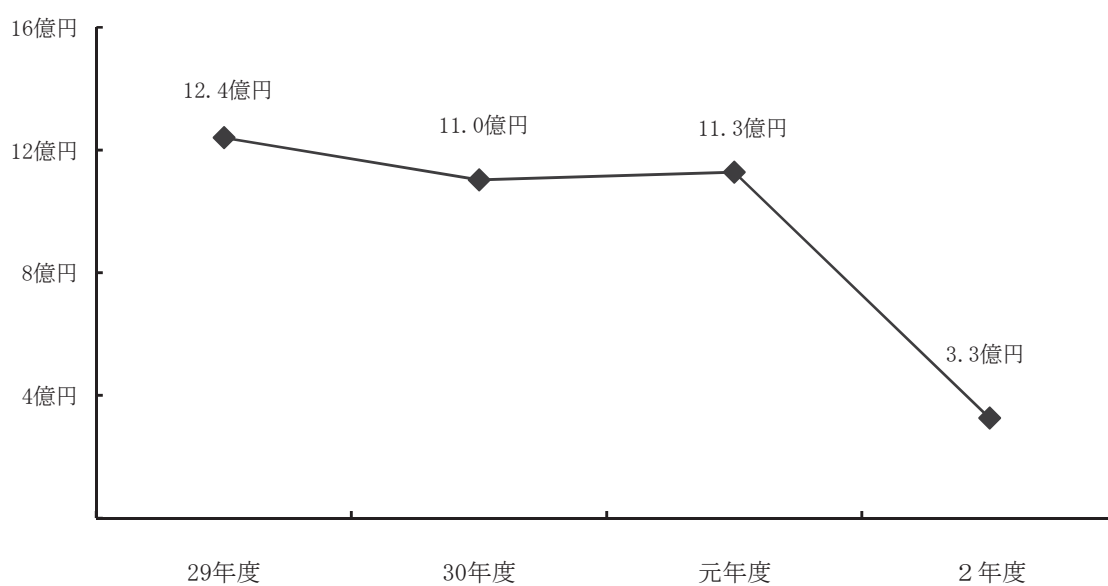
(2) 損益計算書比較

区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率
事 業 収 益	16,921,860,739	100.0	16,911,564,447	100.0	16,777,348,738	100.0	15,663,271,905	100
営業収益	10,006,067,370	59.1	9,851,123,169	58.3	9,860,642,081	58.8	8,743,666,384	55.8
下水道使用料	7,133,179,296	42.2	7,052,089,600	41.7	7,031,023,242	41.9	6,212,170,437	39.6
他会計負担金	2,714,007,964	16.0	2,617,268,325	15.5	2,561,250,774	15.3	2,343,179,993	15.0
その他営業収益	158,880,110	0.9	181,765,244	1.1	268,368,065	1.6	188,315,954	1.2
営業外収益	6,915,793,369	40.9	7,060,211,320	41.7	6,916,706,657	41.2	6,718,774,789	42.9
受取利息及び配当金	1,186,608	0.0	926,964	0.0	482,357	0.0	286,030	0.0
補助金	138,500	0.0	122,000	0.0	162,500	0.0	4,790,500	0.0
他会計負担金	2,764,085,874	16.4	2,861,038,620	16.9	2,749,314,552	16.4	2,659,980,201	17.0
長期前受金戻入	4,130,752,481	24.4	4,170,116,185	24.6	4,145,017,227	24.7	4,044,198,563	25.8
雑収益	19,629,906	0.1	28,007,551	0.2	21,730,021	0.1	9,519,495	0.1
特別利益	—	—	229,958	0.0	—	—	200,830,732	1.3
その他特別利益	—	—	229,958	0.0	—	—	200,830,732	1.3
事 業 費 用	15,681,885,311	100.0	15,808,993,278	100.0	15,649,586,956	100.0	15,336,881,961	100.0
営業費用	13,059,357,428	83.3	13,330,766,709	84.3	13,401,554,399	85.6	13,113,614,014	85.5
管渠費	595,851,673	3.8	654,425,917	4.1	786,828,598	5.0	657,811,633	4.3
ポンプ場費	263,503,369	1.7	247,475,264	1.6	183,750,548	1.2	249,976,251	1.6
水質管理施設費	1,833,067,903	11.7	1,971,624,940	12.5	1,940,726,945	12.4	1,850,626,196	12.1
排水設備普及対策費	82,255,028	0.5	84,151,622	0.5	92,224,563	0.6	86,780,706	0.6
下水道使用料 徴収事務費	297,172,502	1.9	320,292,115	2.0	337,735,709	2.1	326,167,647	2.1
総係費	250,264,791	1.6	202,982,515	1.3	198,147,019	1.3	263,710,508	1.7
減価償却費	9,666,827,400	61.6	9,775,078,662	61.8	9,716,527,838	62.1	9,595,658,810	62.6
資産減耗費	70,414,762	0.5	74,735,674	0.5	145,613,179	0.9	82,882,263	0.5
営業外費用	2,622,527,883	16.7	2,477,211,050	15.7	2,248,032,557	14.4	2,022,437,215	13.2
支払利息及び 企業債取扱諸費	2,568,012,854	16.4	2,407,962,206	15.2	2,175,068,217	13.9	1,957,025,283	12.8
雑支出	54,515,029	0.3	69,248,844	0.5	72,964,340	0.5	65,411,932	0.4
特別損失	—	—	1,015,519	0.0	—	—	200,830,732	1.3
固定資産売却損	—	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
その他特別損失	—	—	1,015,519	0.0	—	—	200,830,732	1.3
当 年 度 純 利 益	1,239,975,428	—	1,102,571,169	—	1,127,761,782	—	326,389,944	—
前年度繰越利益剰余金又は 前年度繰越欠損金	248,178	—	223,606	—	794,775	—	556,557	—
その他未処分利益 剰余金変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金 又は当年度未処理欠損金	1,240,223,606	—	1,102,794,775	—	1,128,556,557	—	326,946,501	—

下水道事業会計収支決算年度別比較



当期純利益の推移



(3) 貸借対照表比較

資産の部

区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率
固 定 資 産	円 257,300,474,174	% 97.6	円 257,472,645,753	% 98.0	円 251,865,308,993	% 97.8	円 246,142,538,526	% 98.1
有形固定資産	253,806,093,282	96.3	254,174,087,648	96.8	248,720,667,763	96.6	243,134,345,739	96.9
土地	13,227,644,691	5.0	13,397,946,874	5.1	13,398,387,756	5.2	13,321,832,818	5.3
立木	302,698	0.0	302,698	0.0	364,698	0.0	364,698	0.0
建物	12,889,320,850	4.9	14,193,913,573	5.4	13,919,909,986	5.4	13,548,516,601	5.4
構築物	204,250,838,030	77.5	204,089,704,136	77.7	201,260,700,808	78.2	196,887,176,374	78.5
機械及び装置	21,429,536,418	8.1	19,585,414,726	7.5	17,409,039,353	6.8	15,489,071,764	6.2
車両運搬具	5,007,754	0.0	4,162,138	0.0	7,654,764	0.0	6,654,593	0.0
工具器具備品	27,225,530	0.0	30,229,584	0.0	42,044,413	0.0	42,856,267	0.0
建設仮勘定	1,976,217,311	0.8	2,872,413,919	1.1	2,682,565,985	1.0	3,837,872,624	1.5
無形固定資産	3,475,958,892	1.3	3,288,267,205	1.2	3,137,595,930	1.2	3,003,497,287	1.2
電話加入権	366,400	0.0	366,400	0.0	366,400	0.0	366,400	0.0
施設利用権	3,443,331,111	1.3	3,251,371,734	1.2	3,112,111,562	1.2	2,986,840,462	1.2
その他 無形固定資産	32,261,381	0.0	36,529,071	0.0	25,117,968	0.0	16,290,425	0.0
投資 その他の資産	18,422,000	0.0	10,290,900	0.0	7,045,300	0.0	4,695,500	0.0
長期貸付金	14,672,000	0.0	10,290,900	0.0	7,045,300	0.0	4,695,500	0.0
公共下水道 事業減債基金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他投資	3,750,000	0.0	—	—	—	—	—	—
流 動 資 産	6,300,526,524	2.4	5,341,868,541	2.0	5,630,031,739	2.2	4,747,246,755	1.9
現金・預金	5,688,314,938	2.2	4,592,645,888	1.7	5,009,047,135	2.0	4,179,541,928	1.7
未収金	645,121,859	0.2	734,136,579	0.3	640,177,081	0.2	590,391,969	0.2
貸倒引当金	△ 34,363,438	0.0	△ 30,819,789	0.0	△ 26,891,620	0.0	△ 23,953,875	0.0
前払金	—	—	44,400,000	0.0	6,900,000	0.0	—	—
その他流動資産	1,453,165	0.0	1,505,863	0.0	799,143	0.0	1,266,733	0.0
資 産 合 計	263,601,000,698	100.0	262,814,514,294	100.0	257,495,340,732	100.0	250,889,785,281	100.0

負債及び資本の部

区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率
固 定 負 債	円 127,879,201,482	% 48.5	円 125,178,473,919	% 47.6	円 120,091,551,251	% 46.7	円 114,328,280,685	% 45.6
企業債	127,092,597,780	48.2	124,440,329,623	47.3	119,399,032,580	46.4	113,601,900,229	45.3
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	127,092,597,780	48.2	124,440,329,623	47.3	119,399,032,580	46.4	113,601,900,229	45.3
引当金	786,603,702	0.3	738,144,296	0.3	692,518,671	0.3	726,380,456	0.3
退職給付引当金	786,603,702	0.3	738,144,296	0.3	692,518,671	0.3	726,380,456	0.3
流 動 負 債	12,619,103,656	4.8	11,456,432,341	4.3	11,383,091,133	4.4	11,494,083,692	4.6
企業債	9,619,251,445	3.6	9,539,514,907	3.6	9,693,997,043	3.8	9,947,832,351	4.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	9,619,251,445	3.6	9,539,514,907	3.6	9,693,997,043	3.8	9,947,832,351	4.0
未払金	2,512,641,219	1.0	1,577,544,537	0.6	1,361,535,909	0.5	1,225,262,051	0.5
未払費用	325,956,692	0.2	168,143,831	0.1	158,480,592	0.1	146,750,307	0.1
引当金	50,532,000	0.0	51,805,000	0.0	55,539,000	0.0	55,773,000	0.0
賞与等引当金	50,532,000	0.0	51,805,000	0.0	55,539,000	0.0	55,773,000	0.0
その他流動負債	110,722,300	0.0	119,424,066	0.0	113,538,589	0.0	118,465,983	0.0
繰 延 収 益	94,900,568,091	36.0	95,438,327,310	36.3	93,083,955,605	36.2	90,806,129,831	36.2
長期前受金	94,900,568,091	36.0	95,438,327,310	36.3	93,083,955,605	36.2	90,806,129,831	36.2
資 本 金	18,672,044,451	7.1	21,159,332,333	8.1	23,466,591,688	9.1	25,609,744,183	10.2
資本金	18,672,044,451	7.1	21,159,332,333	8.1	23,466,591,688	9.1	25,609,744,183	10.2
剰 余 金	9,530,083,018	3.6	9,581,948,391	3.7	9,470,151,055	3.6	8,651,546,890	3.4
資本剰余金	7,139,859,412	2.7	7,239,153,616	2.8	7,239,594,498	2.8	7,196,600,389	2.9
受贈財産評価額	267,755,244	0.1	271,181,832	0.1	271,622,714	0.1	271,622,714	0.1
国庫補助金	6,361,457,493	2.4	6,440,057,455	2.5	6,440,057,455	2.5	6,402,260,986	2.6
県補助金	70,832,985	0.0	71,561,230	0.0	71,561,230	0.0	71,561,230	0.0
他会計負担金	202,307,977	0.1	209,966,871	0.1	209,966,871	0.1	208,596,978	0.1
受益者負担金	237,505,713	0.1	246,386,228	0.1	246,386,228	0.1	242,558,481	0.1
利益剰余金	2,390,223,606	0.9	2,342,794,775	0.9	2,230,556,557	0.8	1,454,946,501	0.5
減債積立金	1,150,000,000	0.4	1,240,000,000	0.5	1,102,000,000	0.4	1,128,000,000	0.4
当年度未処分利益 剰余金	1,240,223,606	0.5	1,102,794,775	0.4	1,128,556,557	0.4	326,946,501	0.1
負債・資本合計	263,601,000,698	100.0	262,814,514,294	100.0	257,495,340,732	100.0	250,889,785,281	100.0

(4) 経営分析

① 業務比率

項目	公 式	29年度	30年度	元年度	2年度	備 考
負 荷 率 (%)	$\frac{\text{一日平均処理水量}}{\text{一日最大処理水量}} \times 100$	59.7	61.2	63.6	62.9	施設の利用度を把握する。 100%に近い程良い。
施 設 利 用 率 (%)	$\frac{\text{一日平均処理水量}}{\text{施設能力}} \times 100$	65.7	63.2	60.9	64.4	負荷率×最大稼働率 原則として100%に近い程良い。
最 大 稼 働 率 (%)	$\frac{\text{一日最大処理水量}}{\text{施設能力}} \times 100$	110.0	103.2	95.7	102.4	施設の利用の適切性をみる。 高い程良いが、余り100%に近づいても良くない。
有 収 率 (%)	$\frac{\text{年間有収汚水量}}{\text{年間汚水処理水量}} \times 100$	84.4	83.7	84.5	84.1	処理場で処理された汚水のうち、料金として徴収 される水量の割合。高い程良い。
下水管使用効率 (m ³ /m)	$\frac{\text{年間総処理水量}}{\text{下水管渠延長}}$	30.9	28.8	27.8	29.2	下水管渠1m当たりの処理量をみて、その効率を はかるもの。数値が大きい程良い。
固定資産使用効率 (m ³ /万円)	$\frac{\text{年間総処理水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$	2.8	2.7	2.6	2.8	有形固定資産1万円当たりの処理量をみて、その 効率をはかるもの。数値が大きい程良い。
職 員 一 人 当 たり	処理水量 (m ³ /人)	908,468	913,816	908,291	926,102	職員数は定数内の損益勘定所属職員数
	処理人口 (人)	7,646	7,840	7,815	7,938	
営業収益 (千円/人)	$\frac{\text{営業収益 - 受託工事収入}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	172,321	172,363	170,882	155,619	

② 資産・負債及び資本構成比率

項目	公 式	29年度	30年度	元年度	2年度	備 考
固定資産構成比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	97.6	98.0	97.8	98.1	比率が小さい程良いが、公営企業は施設事業でも あり、一般的に高いのが特徴。
固定負債構成比率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	48.5	47.6	46.6	45.6	低い程良い。
自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{資本金 + 剰余金 + 繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	46.7	48.0	48.9	49.8	50%以上が望ましい。

③ 財務比率

項目	公式	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
固定比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	209.0	204.1	199.9	196.8	資本金で固定資産をどの程度まかなっているかをみる。 低い程良い。
固定資産対長期 資本比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	102.5	102.4	102.3	102.8	長期適合率 100%以下が望ましい。
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	49.9	46.6	49.5	41.3	短期債務に対して必ずべき流動資産が十分にあるかどうかの 支払能力を示しており、公営企業では100%以上が望ましい。
酸性試験比率 (当座比率)(%)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	49.9	46.2	49.4	41.3	当座資産(現金、預金、未収金)と流動債務の対比で、支 払能力をみる。100%以上が望ましい。
現金預金比率 (%)	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	45.1	40.1	44.0	36.4	即時支払能力をみる。 20%以上が望ましい。

④ 資産資本の回転率

項目	公式	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
自己資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収入}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \times 1/2}$	0.08	0.08	0.08	0.07	自己資本の利用度をみる。数値が高い程良い。
固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収入}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$	0.04	0.04	0.04	0.03	固定資産の利用度を表す。数値が高い程良い。
減価償却率 (%)	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.84	3.89	3.96	4.02	固定資産投下された資本の回収状況を表す。
流動資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収入}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \times 1/2}$	1.77	1.68	1.78	1.68	流動資産の利用度を表す。
未収金回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収入}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \times 1/2}$	16.23	14.08	14.17	14.16	未収金の回収の程度を表す。 数値が大きい程回収速度が良好。

⑤ 損益に関する比率

項目	公 式	29年度	30年度	元年度	2年度	備 考
総資本利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1/2} \times 100$	0.47	0.42	0.43	0.13	総資本に対する利益の割合。数値が高い程良い。
総収益対総費用比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	107.91	106.97	107.21	102.13	収益と費用の相対的な関連性を表す。
営業収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収入}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$	76.55	73.71	73.38	66.60	業務活動能率を表す。
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	107.91	106.98	107.21	102.16	
企業債元金償還金対減価償却費比率 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	149.22	151.21	140.72	141.68	起債元金が、その補てん財源である減価償却費に占める割合を表す。低い程良い。
企業債元金償還金 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	115.81	120.18	111.51	126.61	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準で、低い程良い。
企業債利息 (%)	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	36.00	34.15	30.94	31.50	〃
企業債元利償還金 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	151.81	154.32	142.45	158.12	〃
職員給与費 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	6.68	6.76	5.97	7.95	

○各算式にて用いた用語の内容は次のとおりである。

- ① 減価償却資産 = 有形固定資産 + 無形固定資産 - 土地 - 立木 - 建設仮勘定 - 電話加入権
- ② 自己資本 = 資本金 + 剰余金 + 繰延収益
- ③ 総資本 = 資本 + 負債
- ④ 職員給与費 = 給料 + 手当等 + 法定福利費 + 賞与等引当金繰入額 + 退職給付費 - 児童手当
- ⑤ 営業費用 = 事業費用 - 営業外費用 - 特別損失
- ⑥ 営業収益 = 事業収益 - 営業外収益 - 特別利益
- ⑦ 経常収益 = 事業収益 - 特別収益
- ⑧ 経常費用 = 事業費用 - 特別損失

(5) 汚水処理原価等

区 分			平成29年度		平成30年度(※2)	
			金額等	構成比	金額等	構成比
汚水処理費	維持管理費	人件費	318,214 千円	5.1 %	288,345 千円	4.6 %
		動力費	112,426 千円	1.8 %	126,090 千円	2.0 %
		修繕費	391,781 千円	6.3 %	403,112 千円	6.5 %
		薬品費	44,251 千円	0.7 %	48,111 千円	0.8 %
		委託料	1,177,638 千円	19.0 %	1,234,218 千円	19.9 %
		流域負担金	301,605 千円	4.9 %	325,254 千円	5.2 %
		その他	281,597 千円	4.5 %	314,032 千円	5.1 %
	小計 A	2,627,512 千円	42.3 %	2,739,162 千円	44.1 %	
	資本費	減価償却費	2,412,347 千円	38.9 %	2,395,857 千円	38.5 %
		支払利息	1,169,452 千円	18.8 %	1,080,036 千円	17.4 %
		小計 B	3,581,799 千円	57.7 %	3,475,893 千円	55.9 %
	(※1) 合計 C	6,209,311 千円	100.0 %	6,215,055 千円	100.0 %	
	年間有収汚水量 D	52,691,163 m ³		51,682,053 m ³		
処理原価 C/D	117.84 円/m ³	100.0 %	120.26 円/m ³	100.0 %		
維持管理費 A/D	49.86 円/m ³	42.3 %	53.00 円/m ³	44.1 %		
資本費 B/D	67.98 円/m ³	57.7 %	67.26 円/m ³	55.9 %		
使用料収入 E	7,133,179 千円		6,999,227 千円			
使用料単価 E/D	135.38 円/m ³		135.43 円/m ³			
原価回収率 E/C	114.88 %		112.62 %			
維持管理費 E/A	271.48 %		255.52 %			
資本費 (E-A)/B	125.79 %		122.56 %			

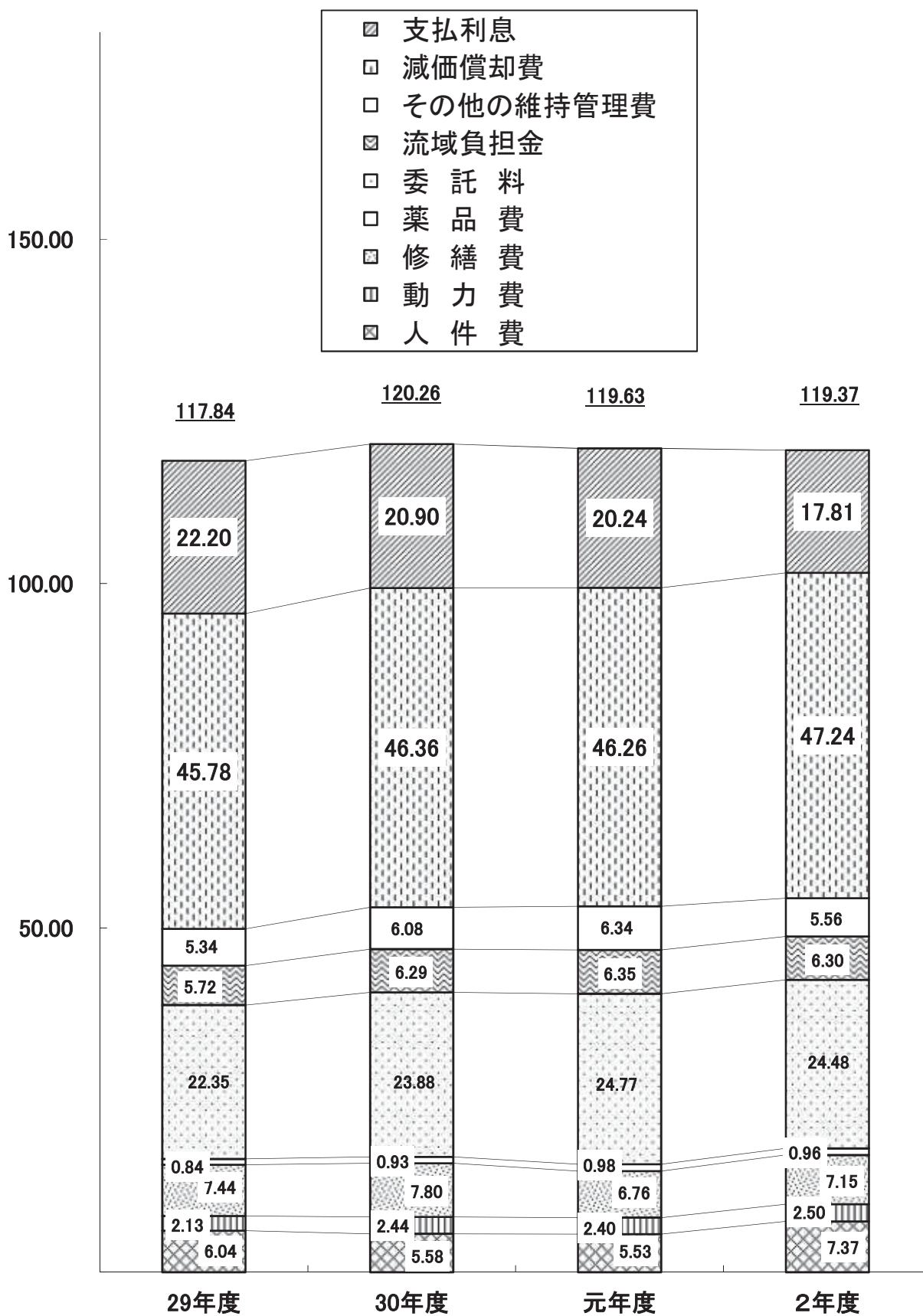
区 分			令和元年度(※2)		令和2年度(※2)	
			金額等	構成比	金額等	構成比
汚水処理費	維持管理費	人件費	284,270 千円	4.6 %	380,116 千円	6.2 %
		動力費	123,057 千円	2.0 %	129,084 千円	2.1 %
		修繕費	347,516 千円	5.7 %	368,819 千円	6.0 %
		薬品費	50,104 千円	0.8 %	49,611 千円	0.8 %
		委託料	1,272,411 千円	20.7 %	1,261,865 千円	20.5 %
		流域負担金	326,386 千円	5.3 %	324,643 千円	5.3 %
		その他	325,592 千円	5.3 %	286,537 千円	4.6 %
	小計 A	2,729,336 千円	44.4 %	2,800,675 千円	45.5 %	
	資本費	減価償却費	2,376,735 千円	38.7 %	2,435,352 千円	39.6 %
		支払利息	1,039,976 千円	16.9 %	918,242 千円	14.9 %
		小計 B	3,416,711 千円	55.6 %	3,353,594 千円	54.5 %
	(※1) 合計 C	6,146,047 千円	100.0 %	6,154,269 千円	100.0 %	
	年間有収汚水量 D	51,376,484 m ³		51,557,235 m ³		
処理原価 C/D	119.63 円/m ³	100.0 %	119.37 円/m ³	100.0 %		
維持管理費 A/D	53.13 円/m ³	44.4 %	54.32 円/m ³	45.5 %		
資本費 B/D	66.50 円/m ³	55.6 %	65.05 円/m ³	54.5 %		
使用料収入 E	6,979,202 千円		6,176,103 千円			
使用料単価 E/D	135.84 円/m ³		119.79 円/m ³			
原価回収率 E/C	113.56 %		100.35 %			
維持管理費 E/A	255.71 %		220.52 %			
資本費 (E-A)/B	124.38 %		100.65 %			

※1 汚水処理費は、公費で負担すべき経費（総務省で定める繰出基準に計上された経費）及び長期前受金戻入分見合いの減価償却費を除いた額とする。

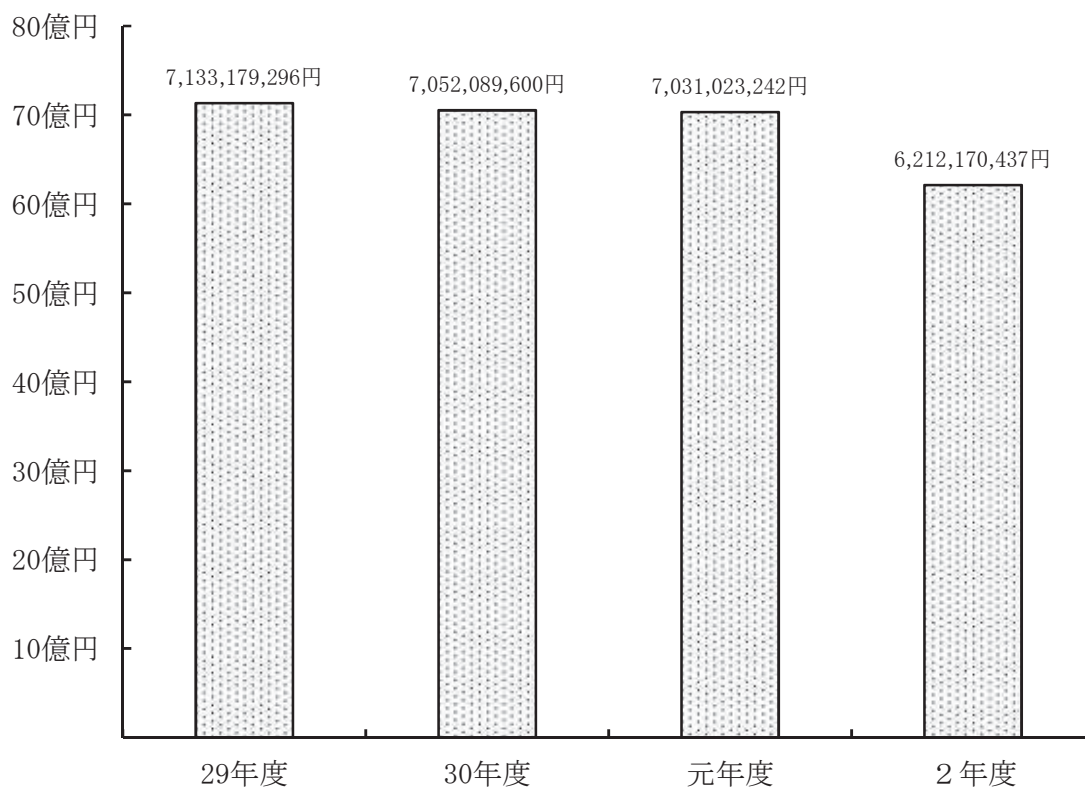
※2 農村下水道事業分を含んでいない。

汚水処理原価(1m³あたり)推移

(単位:円)

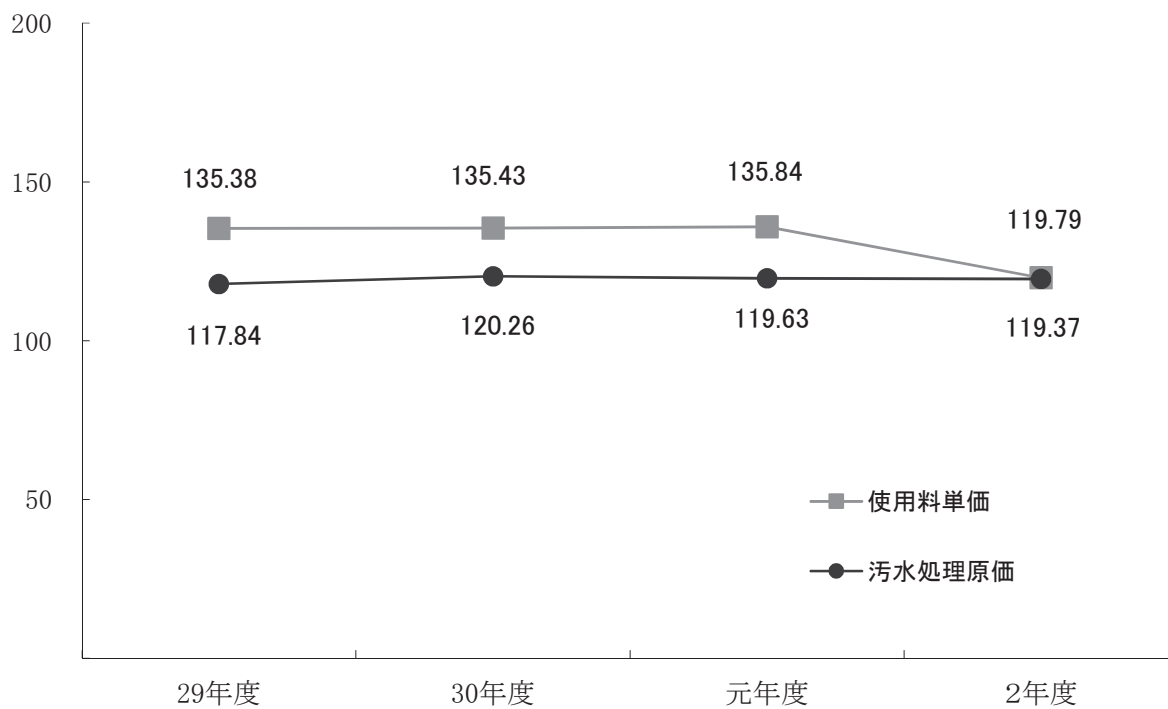


下水道使用料収入の推移

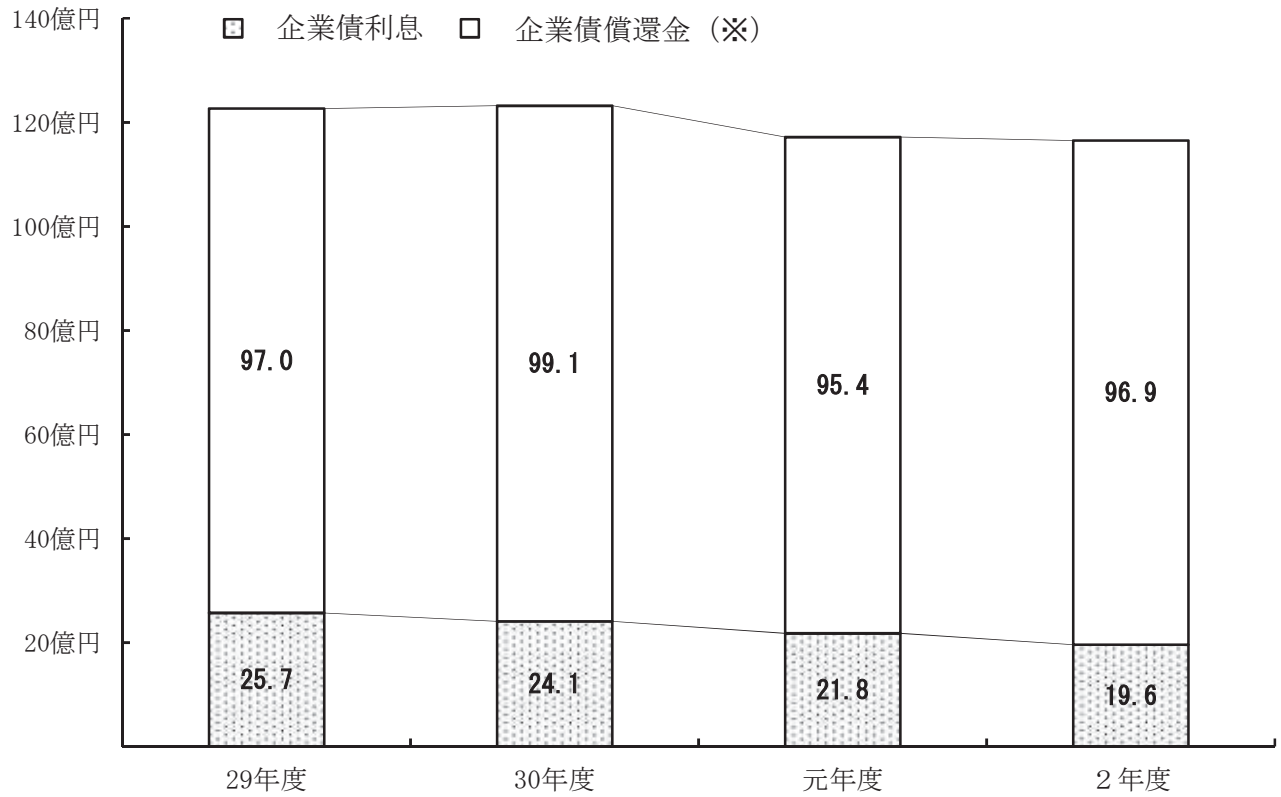


(単位:円)

汚水処理原価及び使用料単価の推移(1m³あたり)

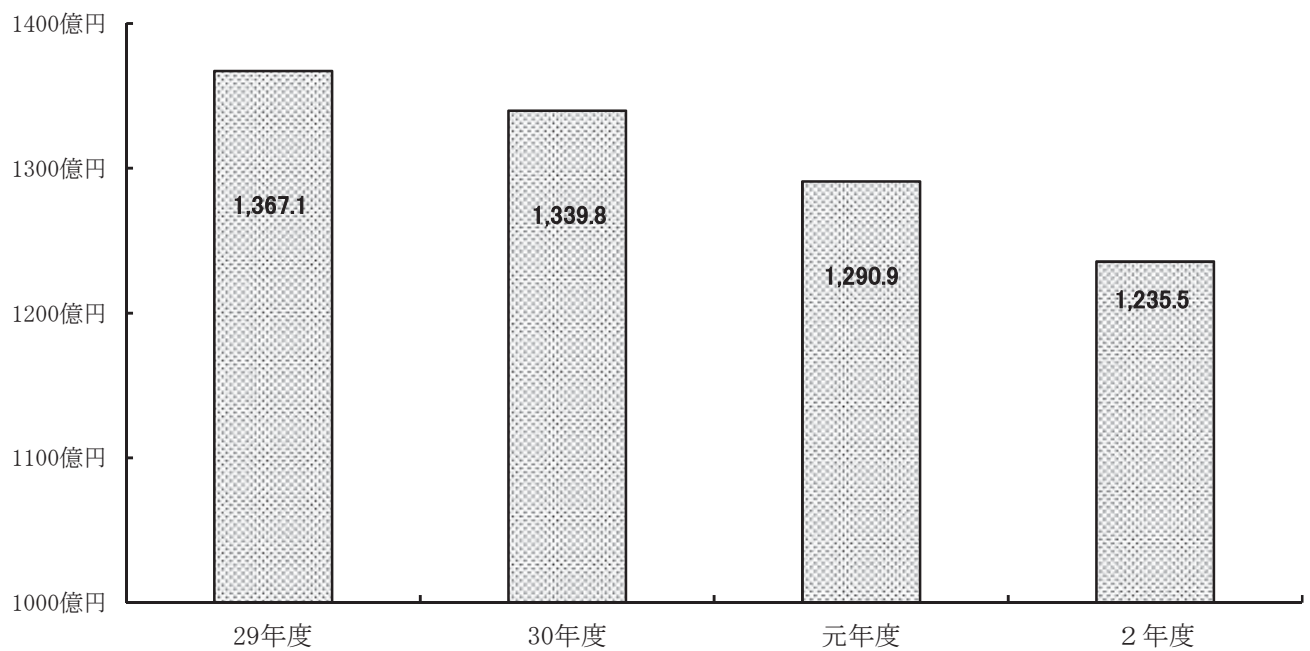


企業債利息及び企業債償還金の推移



※ 企業債償還金は、繰上償還額を含む。

企業債残高の推移

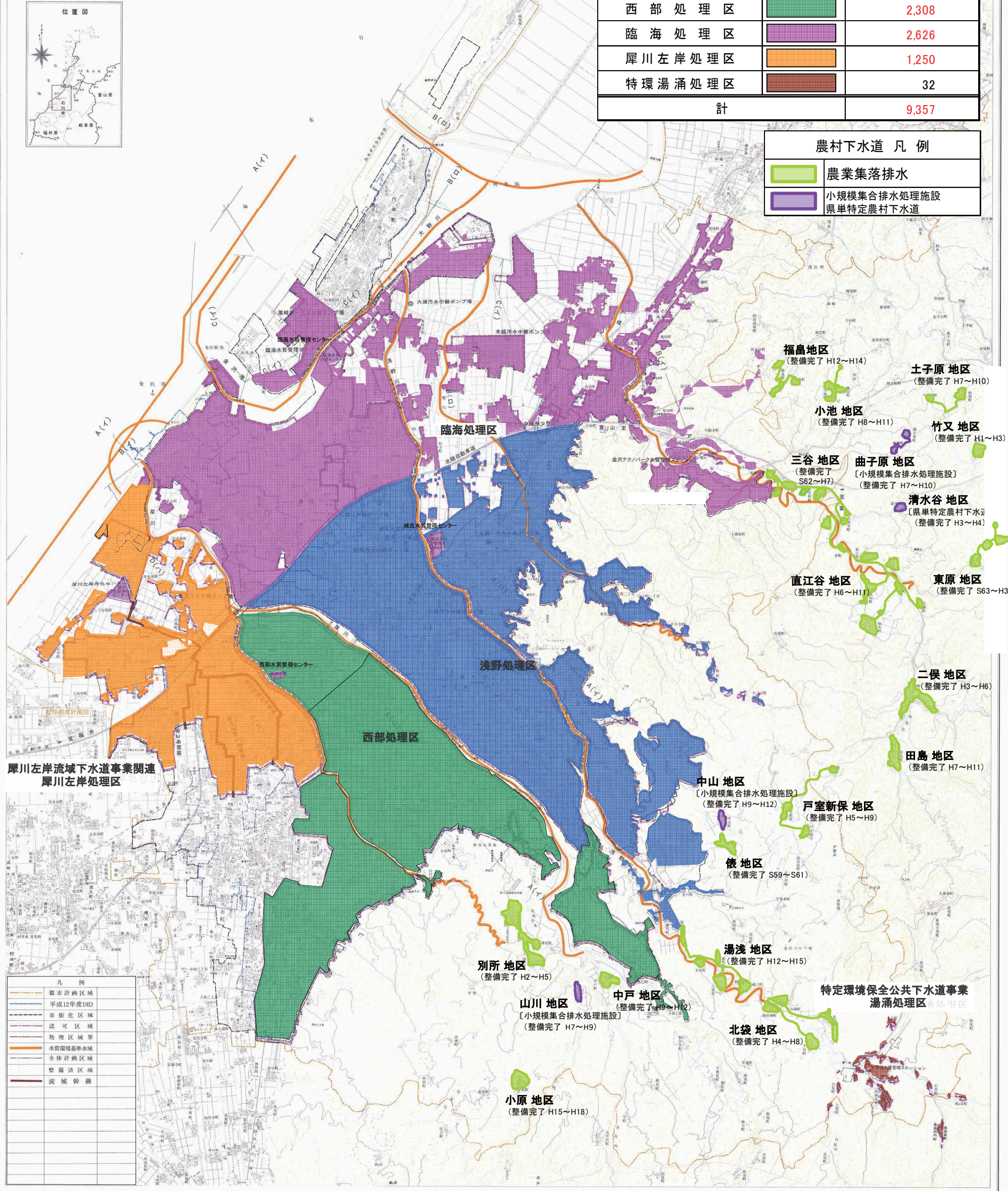


金沢市公共・特環・流域・農村下水道全体計画図



処理区名	全体計画面積(ha)
浅野処理区	3,141
西部処理区	2,308
臨海処理区	2,626
犀川左岸処理区	1,250
特環湯涌処理区	32
計	9,357

農業集落排水
小規模集排水処理施設 県単特定農村下水道



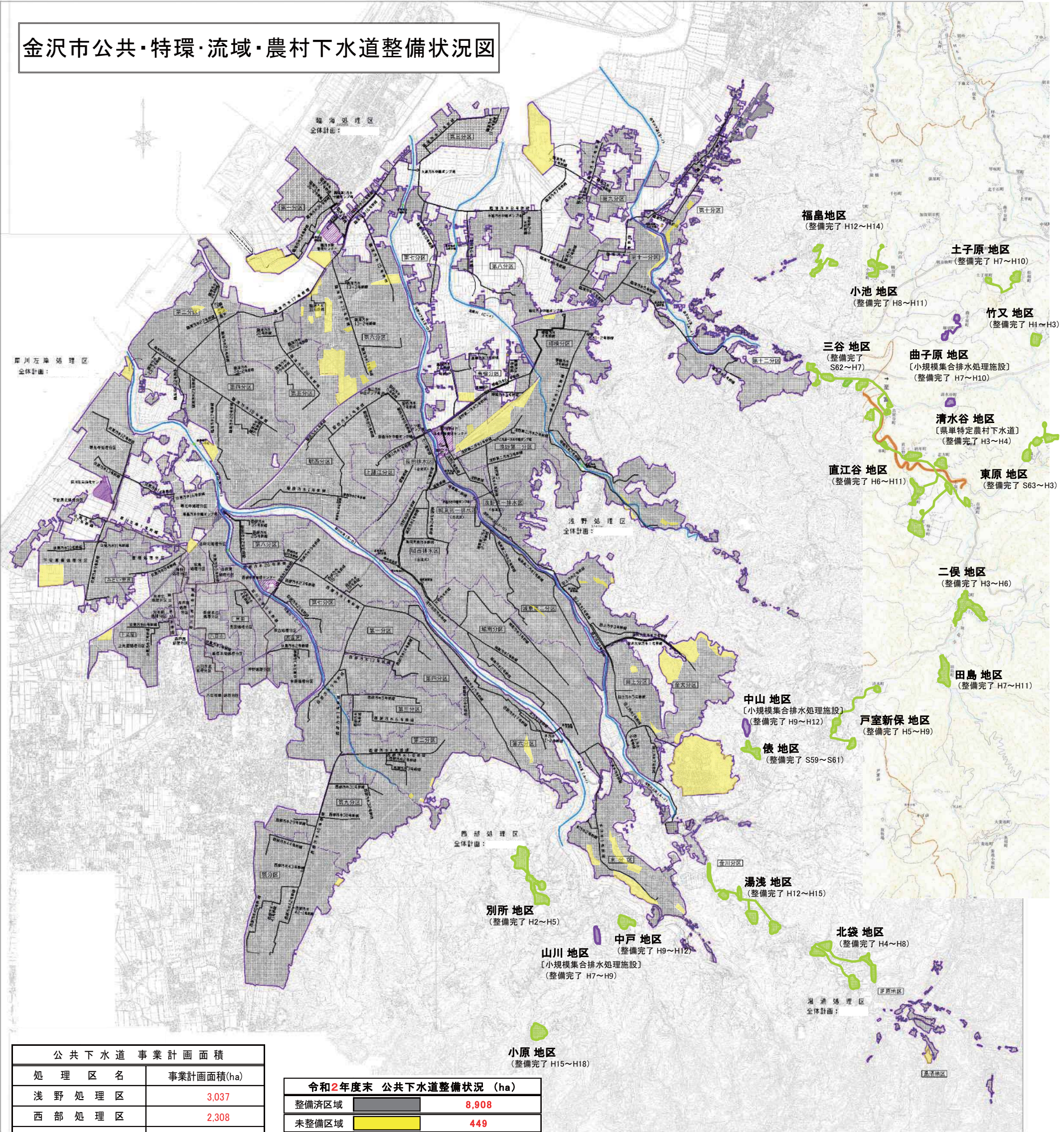
都市計画区域
平成12年度DID
市街化区域
認可区域
処理区域界
水質環境基準水域
全体計画区域
整備済区域
流域幹線

1:25,000

この計画図は、環境省「下水道整備促進事業」に基づき、関係機関と連携して作成されたものであり、関係機関との連携により、計画の進捗状況は随時更新されるものとします。

平成十七年三月調整

金沢市公共・特環・流域・農村下水道整備状況図



処理区名	事業計画面積(ha)
浅野処理区	3,037
西部処理区	2,308
臨海処理区	2,591
犀川左岸処理区	1,250
特環湯涌処理区	32
計	9,218

整備済区域	8,908
未整備区域	449

■	農業集落排水
■	小規模集合排水処理施設 県単特定農村下水道